

伊根町 地域経済構造分析

福知山公立大学地域経営学部

佐藤 充

sato-mitsuru@fukuchiyama.ac.jp

● 分析の視点

◆ 伊根町の主要産業

産業分類 (生産額順位)	付加価値額	修正特化係 数(生産額)	純移輸出額	影響力係数	感応度係数	労働生産性	雇用者所得
建設業 (1位)	◎	△	◎	×	×→△	△	△→○
生産額、付加価値額ともに全産業中1位で所得を生み出している産業であり、域外から最も所得を獲得している産業（純移輸出額1位）でもある。							
公務 (2位)	◎	△	×	×	×	△	—→△
生産額、付加価値額ともに全産業中2位である。また雇用者所得も全産業で2位であり、住民の生活を支えている産業と言える。							
宿泊・飲食 サービス業 (3位)	○	△	○	△→○	×	—	—
付加価値額、雇用者所得額では5番目であるが、移輸出入額が全産業中3位との外貨を獲得している産業である。感応度係数が1を超えており、産業の拡大に伴い他産業への経済波及効果が見込まれる。							
水産業 (4位)	△→○	◎	○→◎	×→△	○	—	—
修正特化係数が全産業中1位、移輸出入額が全産業中2位との外貨を獲得している産業であり、伊根町が得意としている産業である。							
保健衛生・ 社会事業 (5位)	○	—	×	×	×	—	—
教育 (6位)	○	△	×	×	×	—	—

—:平均未満（偏差値50未満） △:平均以上（偏差値50以上60未満）

○:良い（偏差値60以上70未満） ◎:群を抜いて良い（偏差値70以上）

※1 上記にかかわらず、「純移輸出額」で移輸入が超過している産業は×、「修正特化係数」「影響力係数」「感応度係数」で1未満の産業は×としている。

※2 表中に2種類のマークが併記されている場合は、左が2013年、右が2015年を表している。

（一般財団法人地域活性化センター人口・地域経済研究室「がんばる地域」応援事業（地域経済循環分析）関係者向け簡易セミナー」より引用）

◆ 地域経済循環構造を機能させるには

1. 域外から所得を稼ぐ

2. 域内で取引を拡大させる

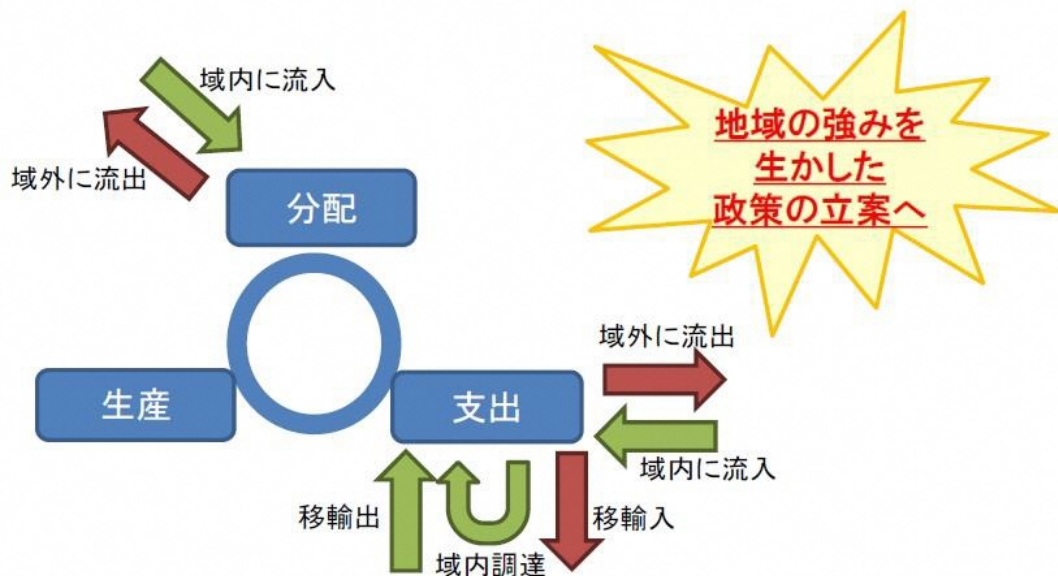
3. 不得意な分野は他地域に依存

得意な産業
(域内で集積度の
高い産業)

域外から
稼げる産業

核となる産業

強い産業
(労働生産性の
高い産業)



(一般財団法人地域活性化センター人口・地域経済研究室「がんばる地域」応援事業(地域経済循環分析)関係者向け簡易セミナー)より引用)

◆ 分析に用いたデータ・資料①

- 株式会社価値総合研究所「京都府伊根町 地域経済計算 (2015年)」
- 株式会社価値総合研究所「京都府伊根町 地域産業連関表 (2015年)」
- 環境省「地域経済循環分析レポート」
- 京都府「市町村民経済計算統計表」
- 京都府「観光入込客数及び観光消費額」
- 農林水産省「市町村別農業産出額(推計)」
- 農林水産省「農林業センサス」
- 農林水産省「漁業センサス」
- 農林水産省「海面漁業生産統計調査」

◆ 分析に用いたデータ・資料②

- 伊根町地域経済実態調査の回答データ

調査期間 2021年9月～10月

回収数 18件

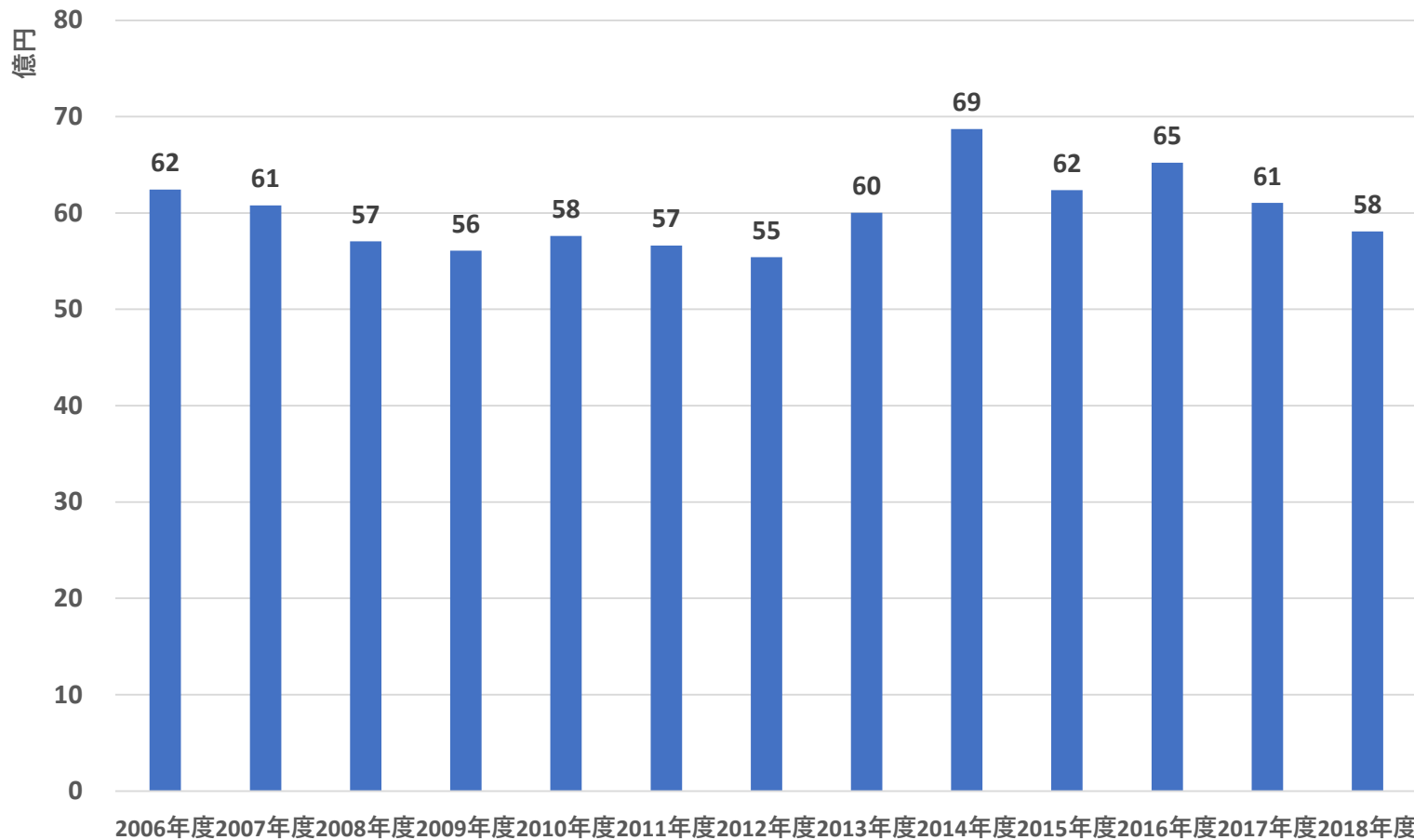
- 伊根町観光客実態調査の回答データ

調査期間 2021年9月～10月

回収数 173件 → 138件(重複除く)

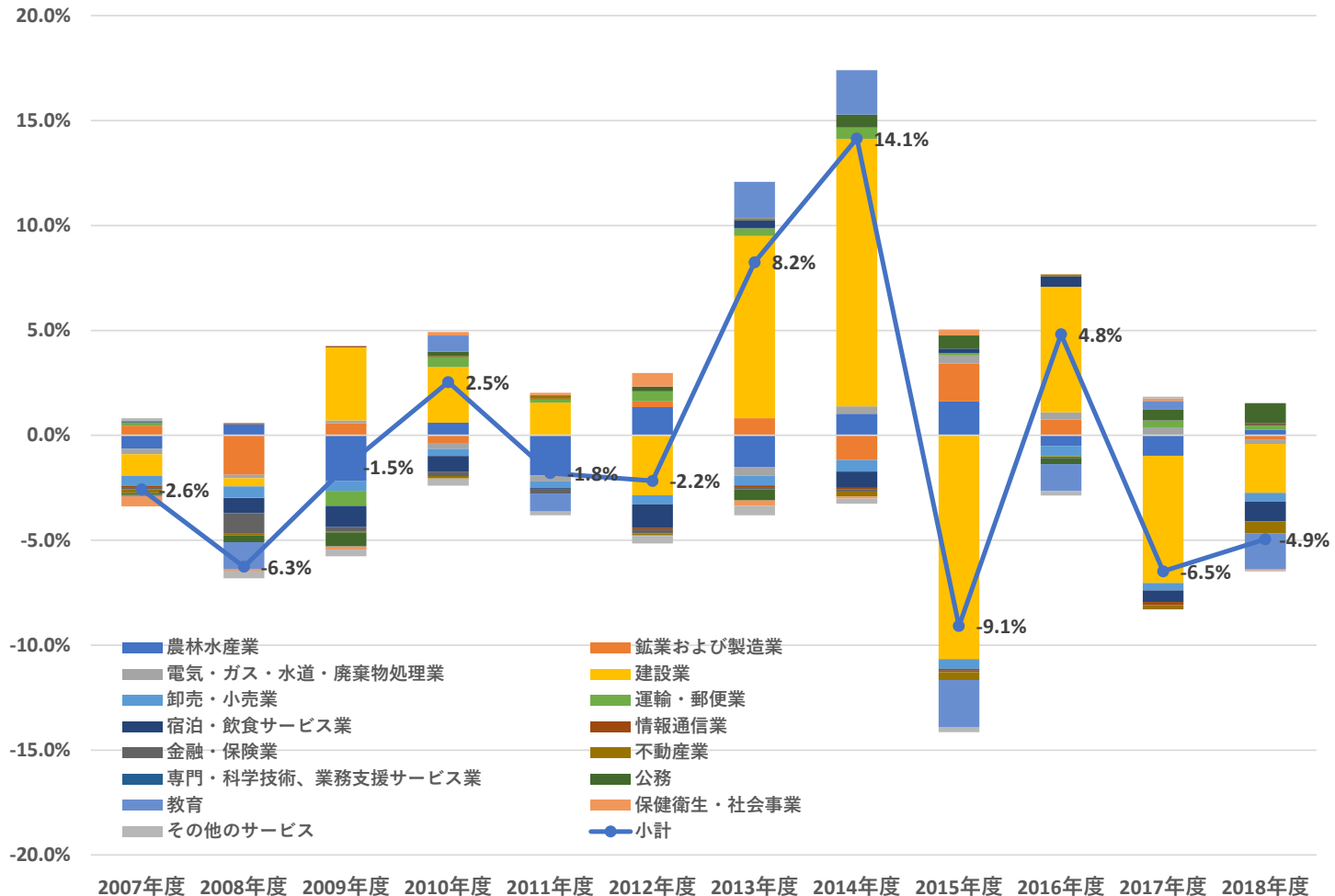
1 地域経済の動向

◆ 町内総生産の推移



(京都府「市町村民経済計算統計表」より作成)

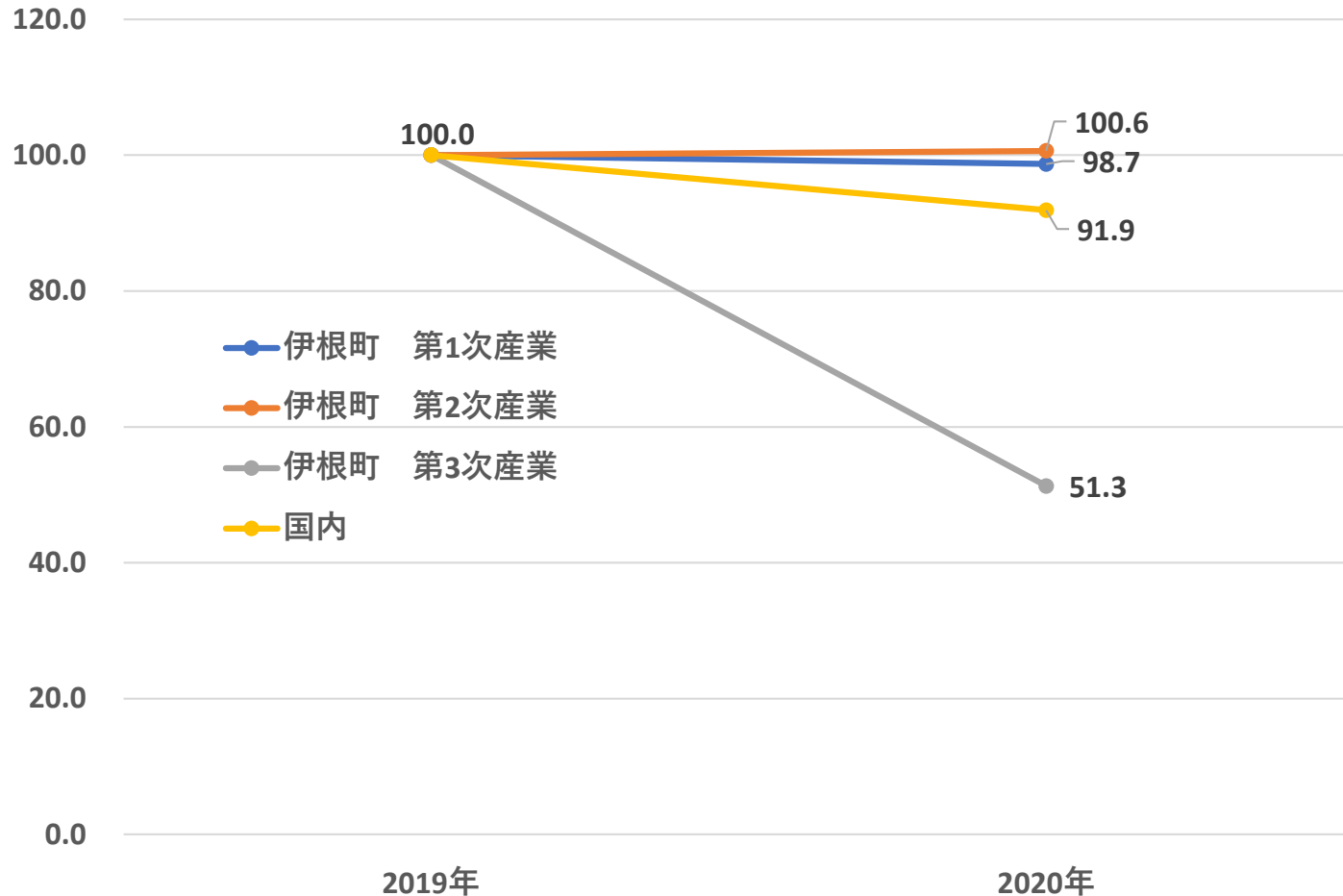
◆ 町内総生産の成長率と要因分解



(京都府「市町村民経済計算統計表」より作成)

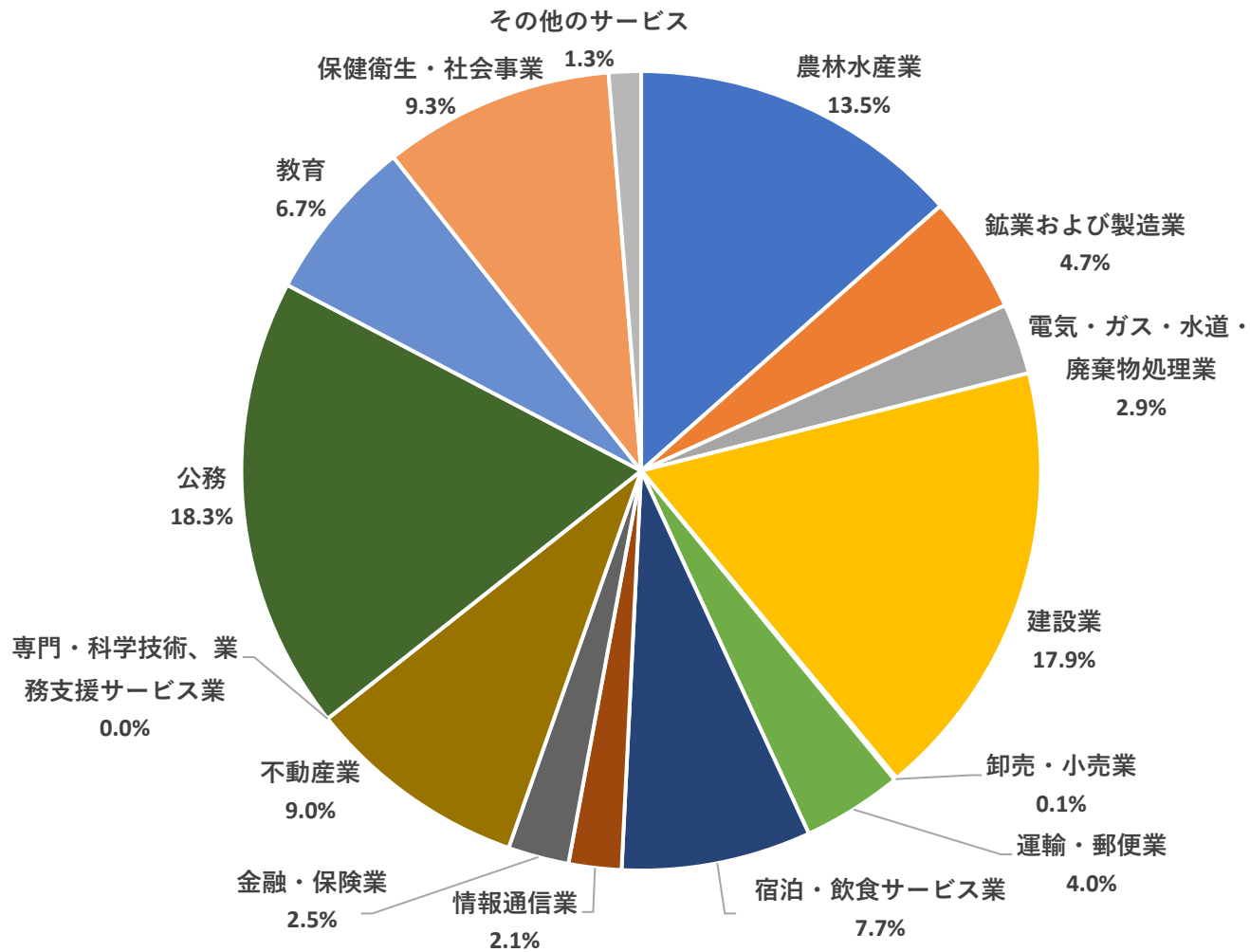
◆ 新型コロナウイルス感染症による影響(参考)

【年間売上高の推移(19年=100,加重平均値)】



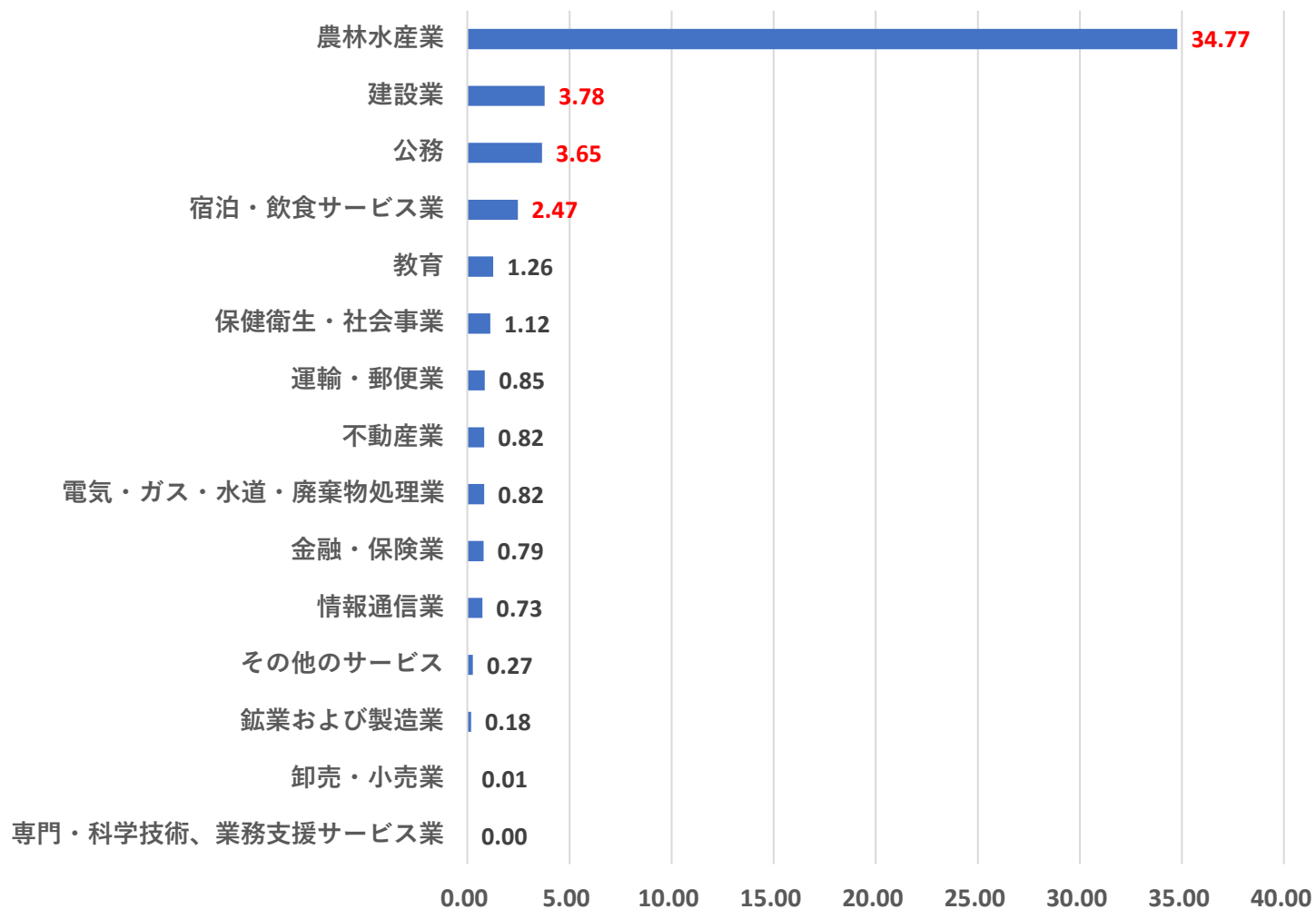
(「伊根町地域経済実態調査」・財務省「年次別法人企業統計調査(令和2年度)」より作成)

◆ 町内総生産の経済活動別内訳(18年度)



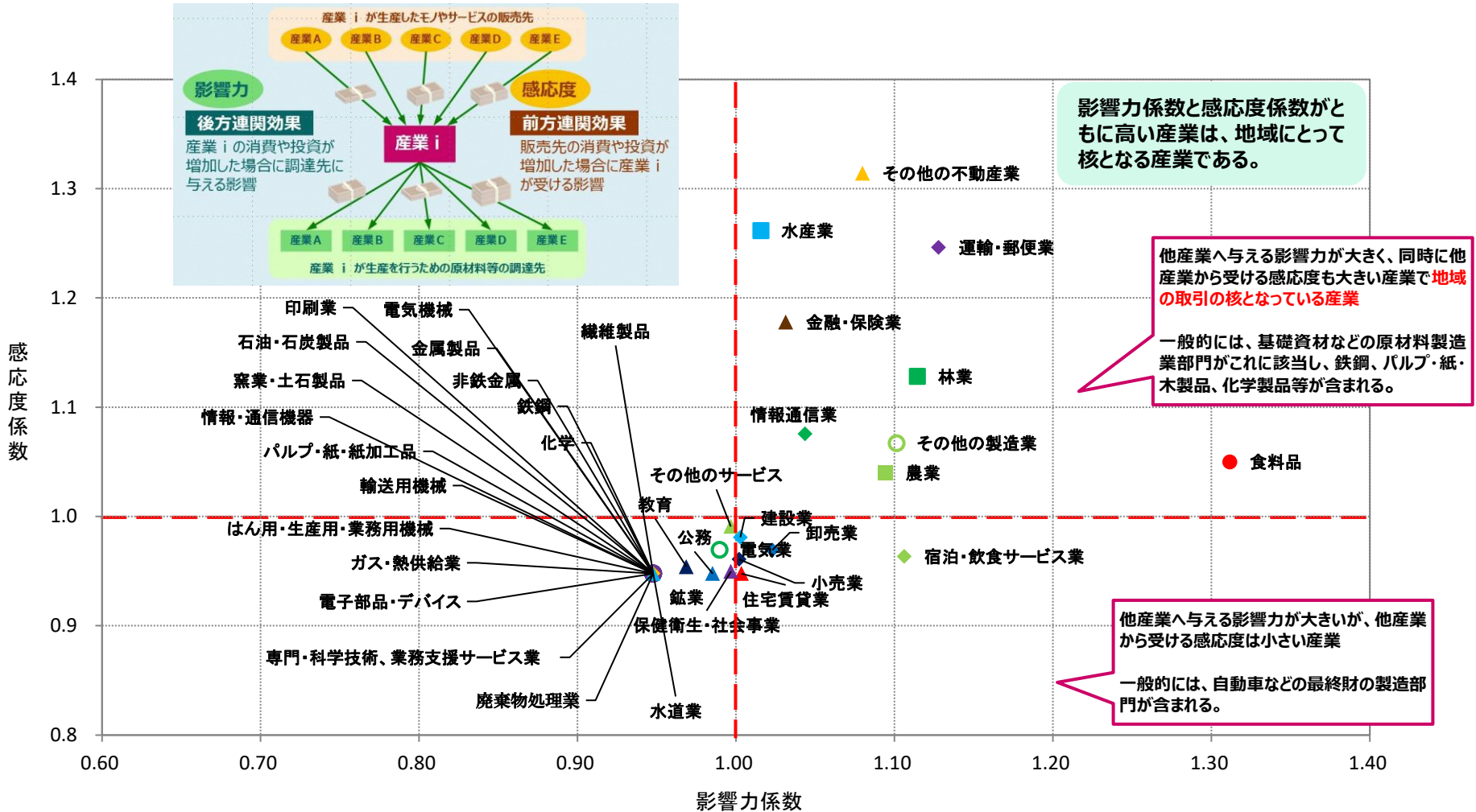
(京都府「市町村民経済計算統計表」より作成)

◆ 町内総生産の特化係数(18年度)



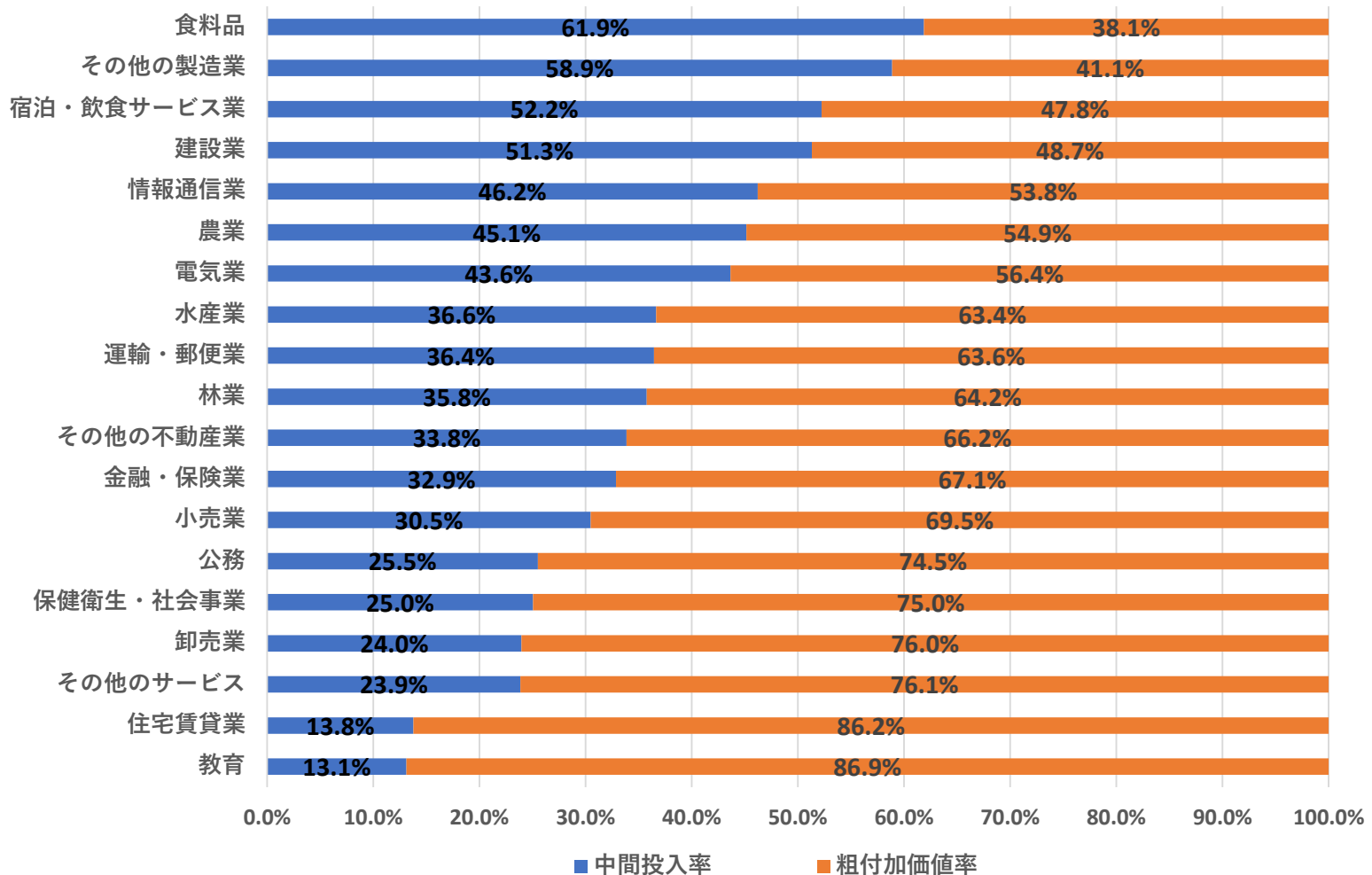
(京都府「市町村民経済計算統計表」より作成)

◆ 地域の中核となる産業(15年)



(環境省「地域経済循環分析レポート」より加筆引用)

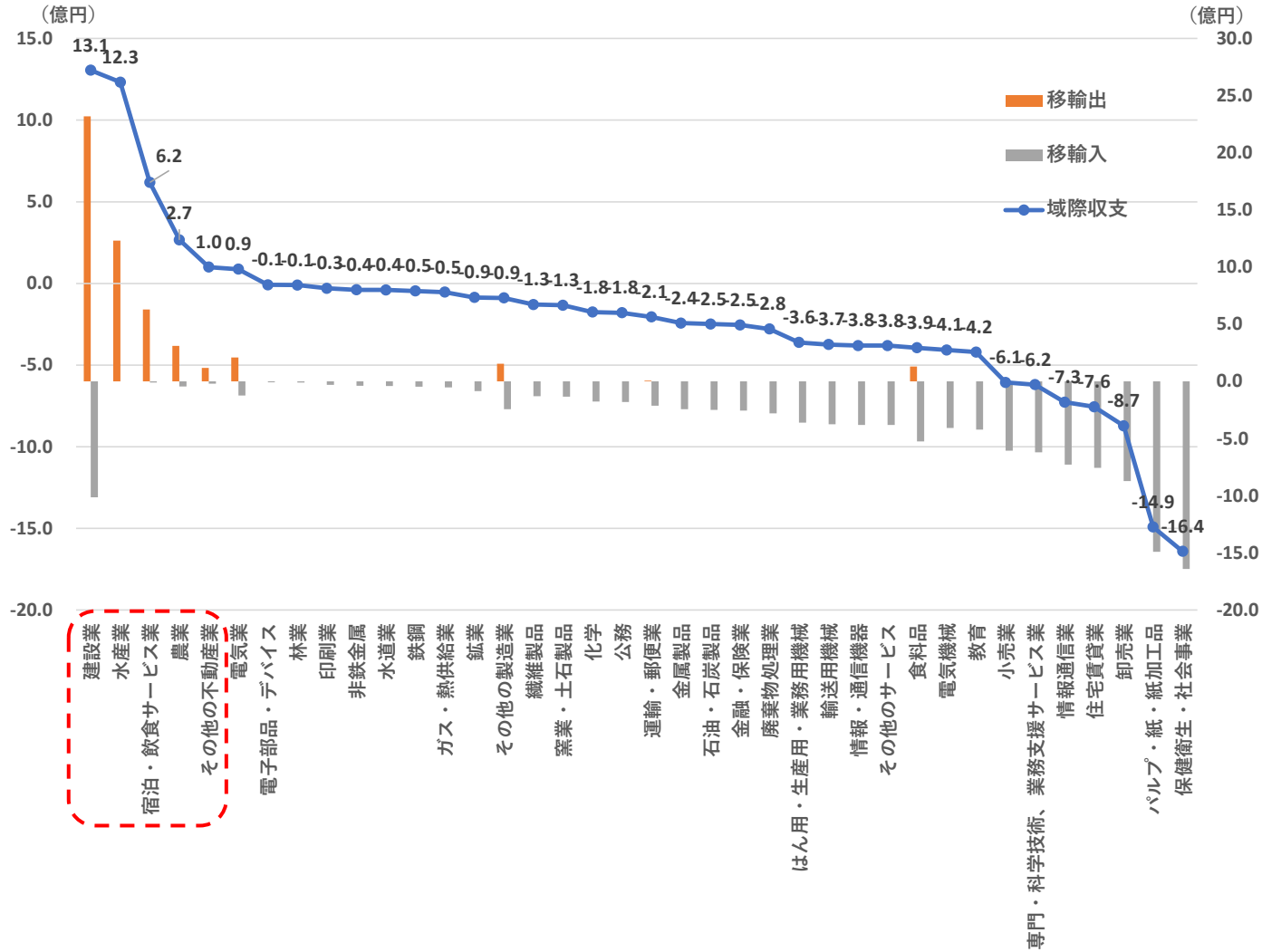
◆ 部門別の中間投入率・粗付加価値率(15年)



(価値総合研究所「京都府伊根町 地域産業連関表(2015年)」より作成)



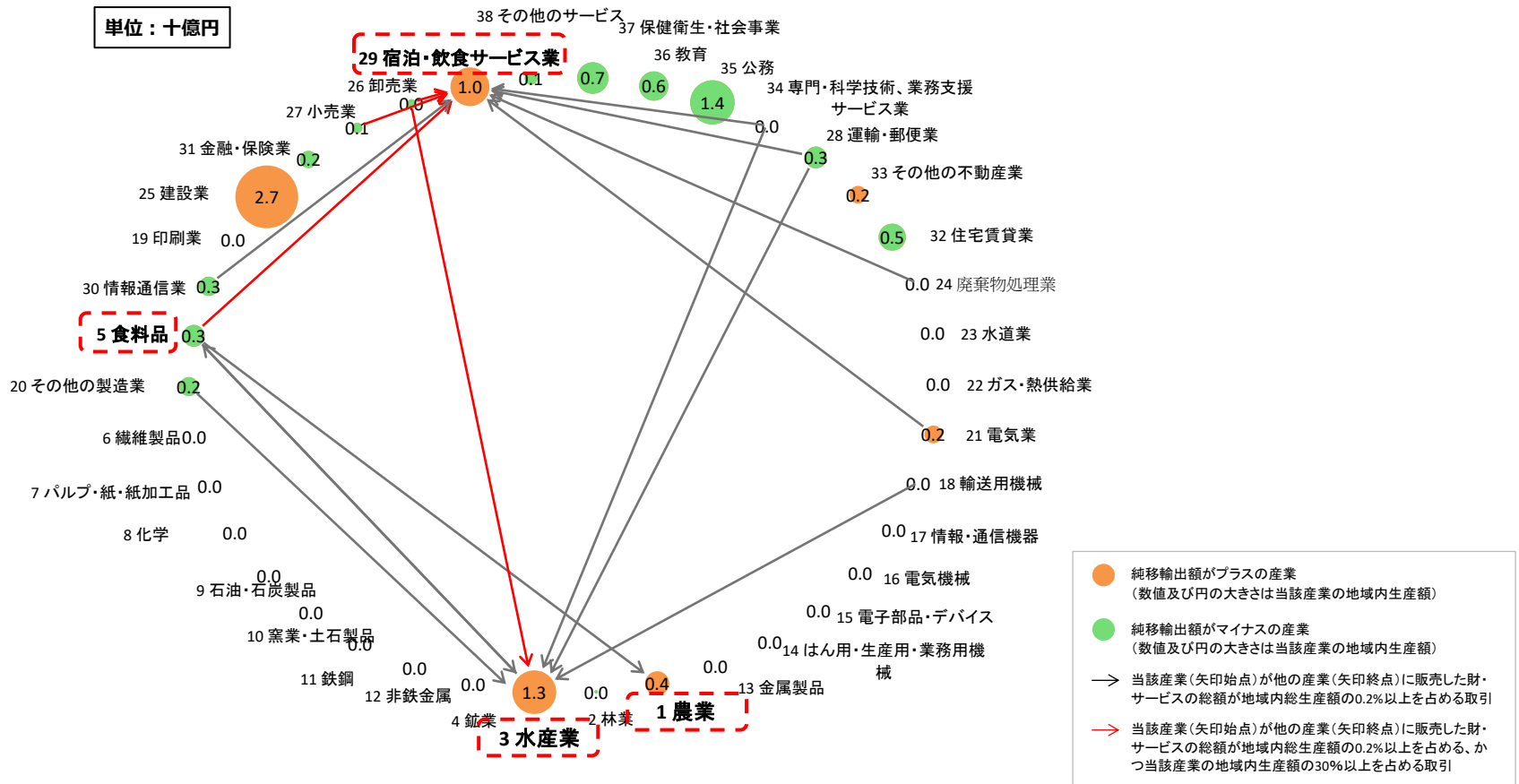
部門別の域際収支(15年)



(価値総合研究所「京都府伊根町 地域産業連関表(2015年)」より作成)



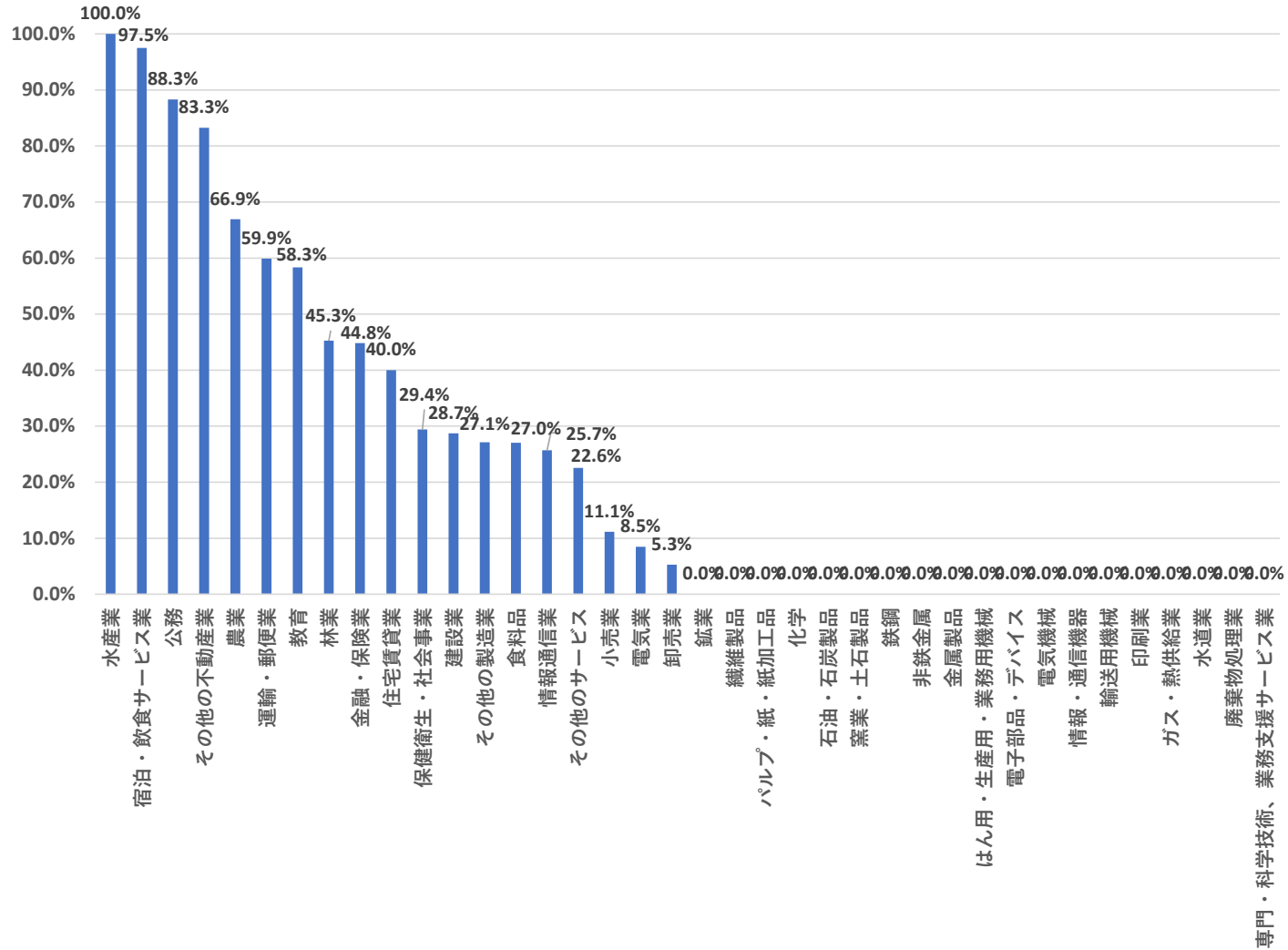
主要な部門間取引構造(15年)



(環境省「地域経済循環分析レポート」より加筆引用)

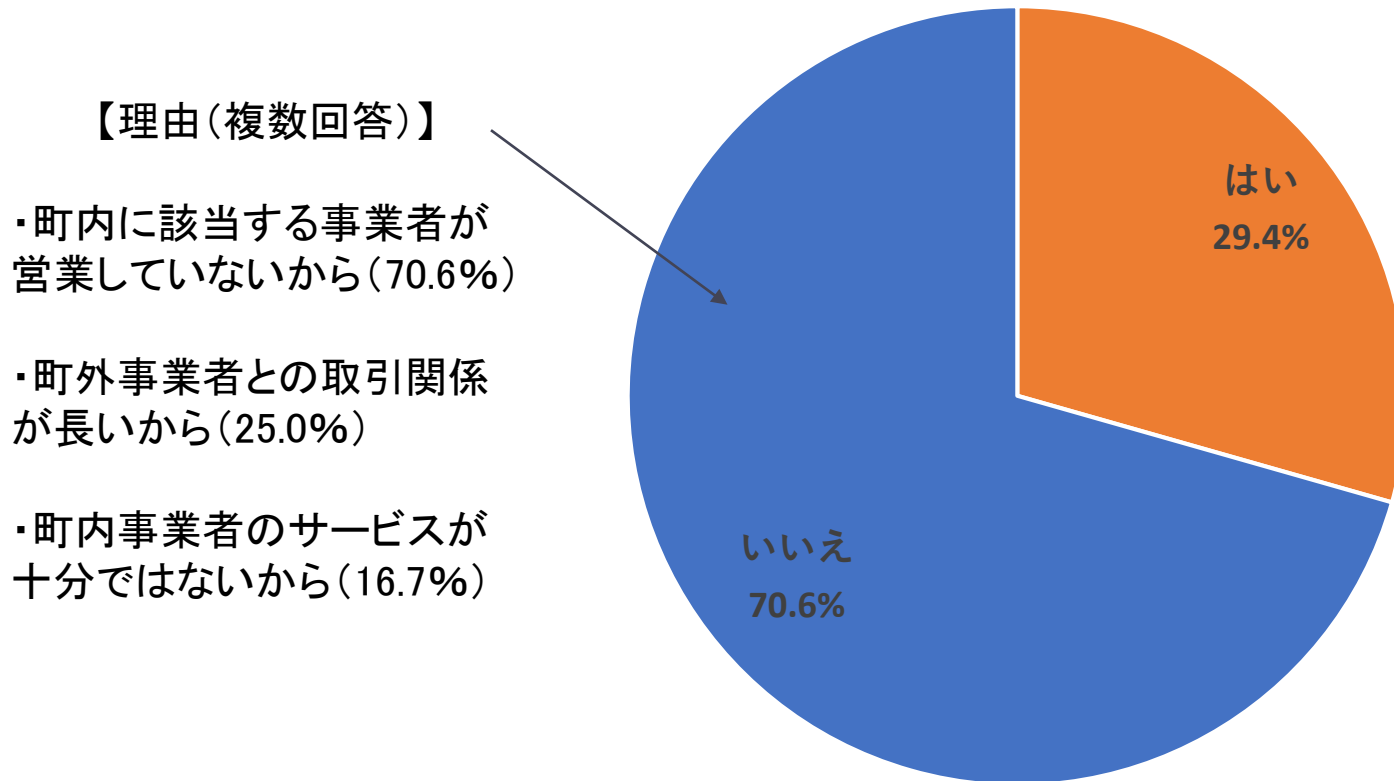


部門別の域内自給率(15年)



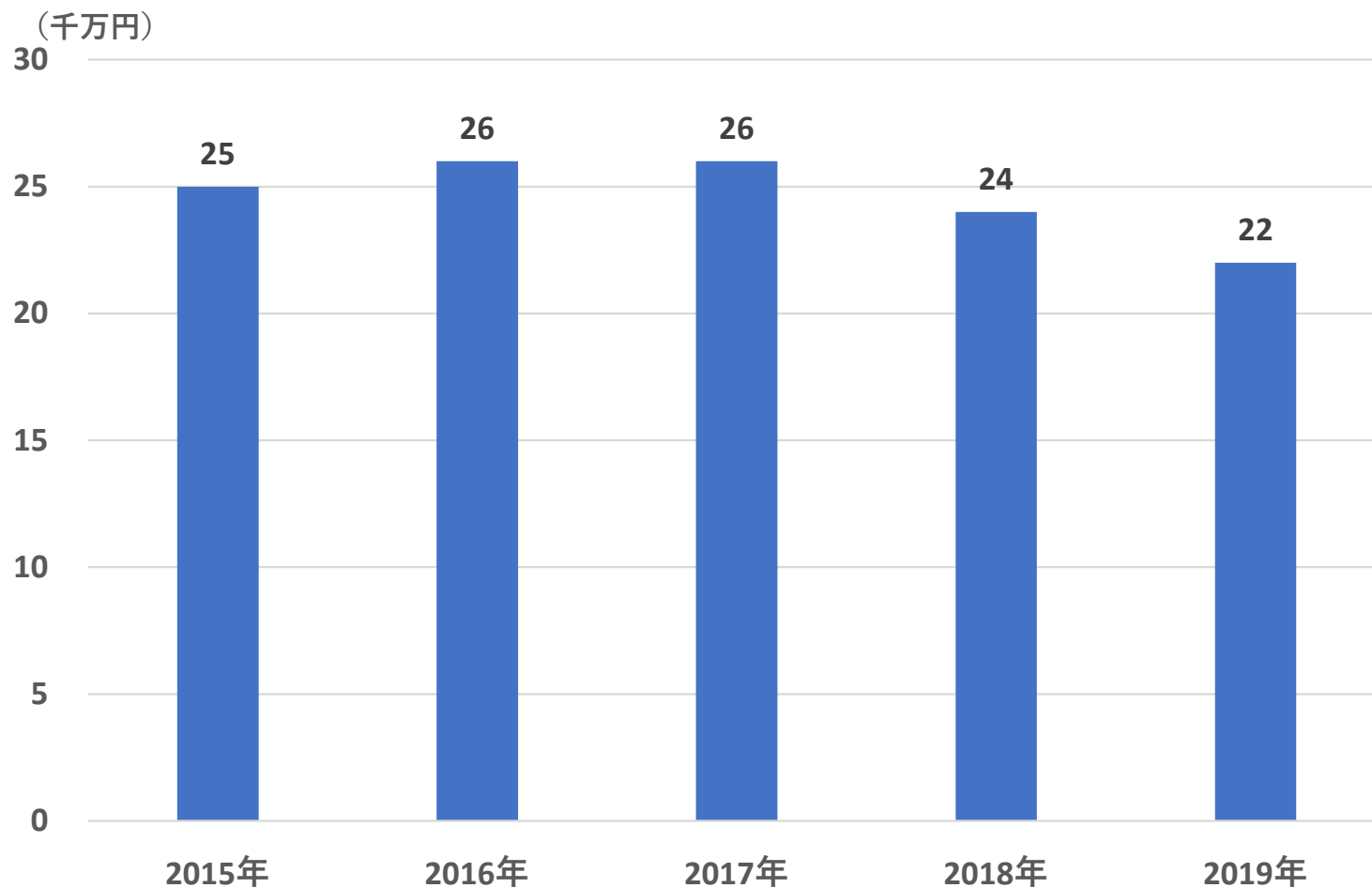
(価値総合研究所「京都府伊根町 地域産業連関表(2015年)」より作成)

◆ 域内取引の意向 (n=17)



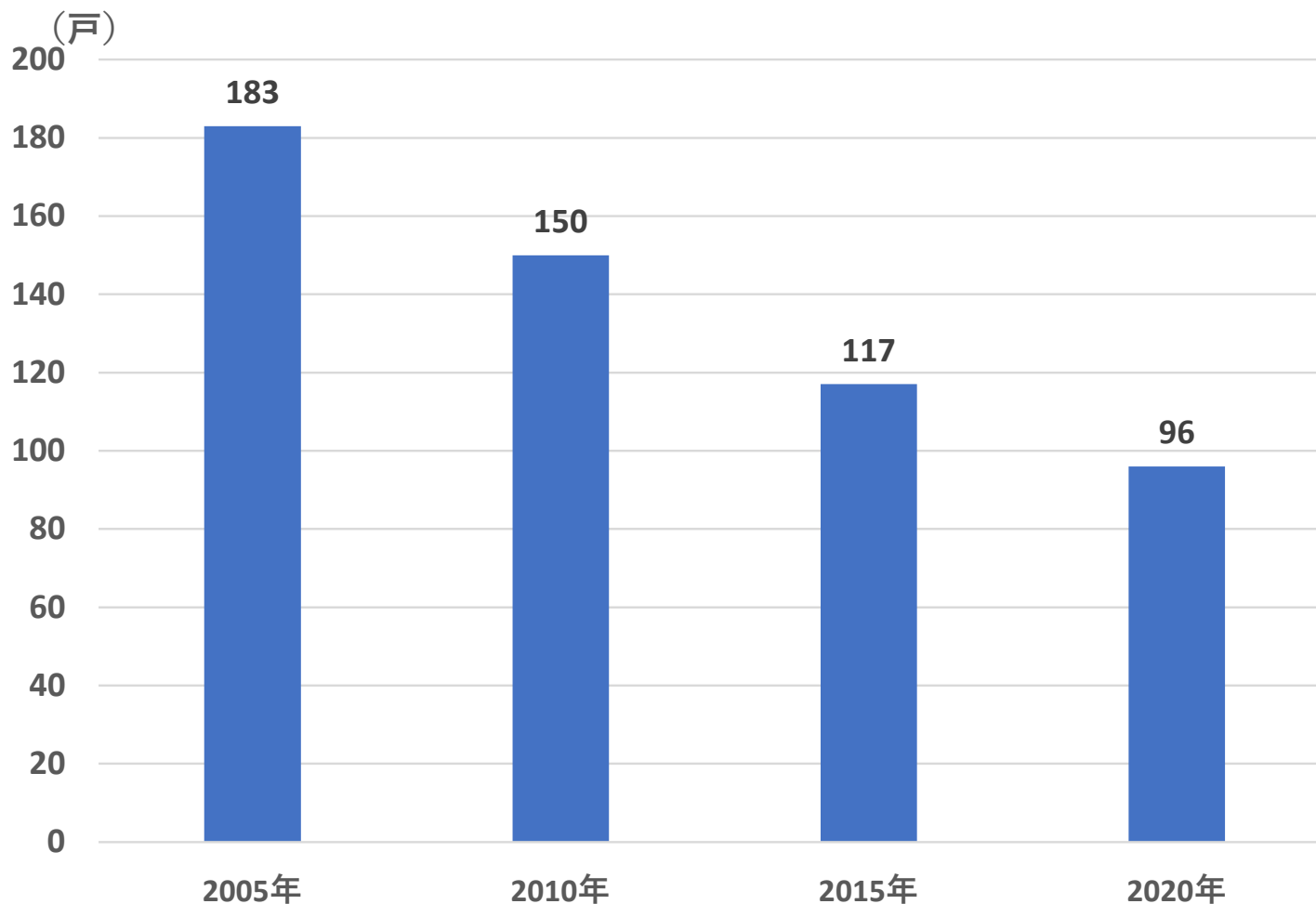
2 第1次産業の動向

◆ 農業生産額の推移



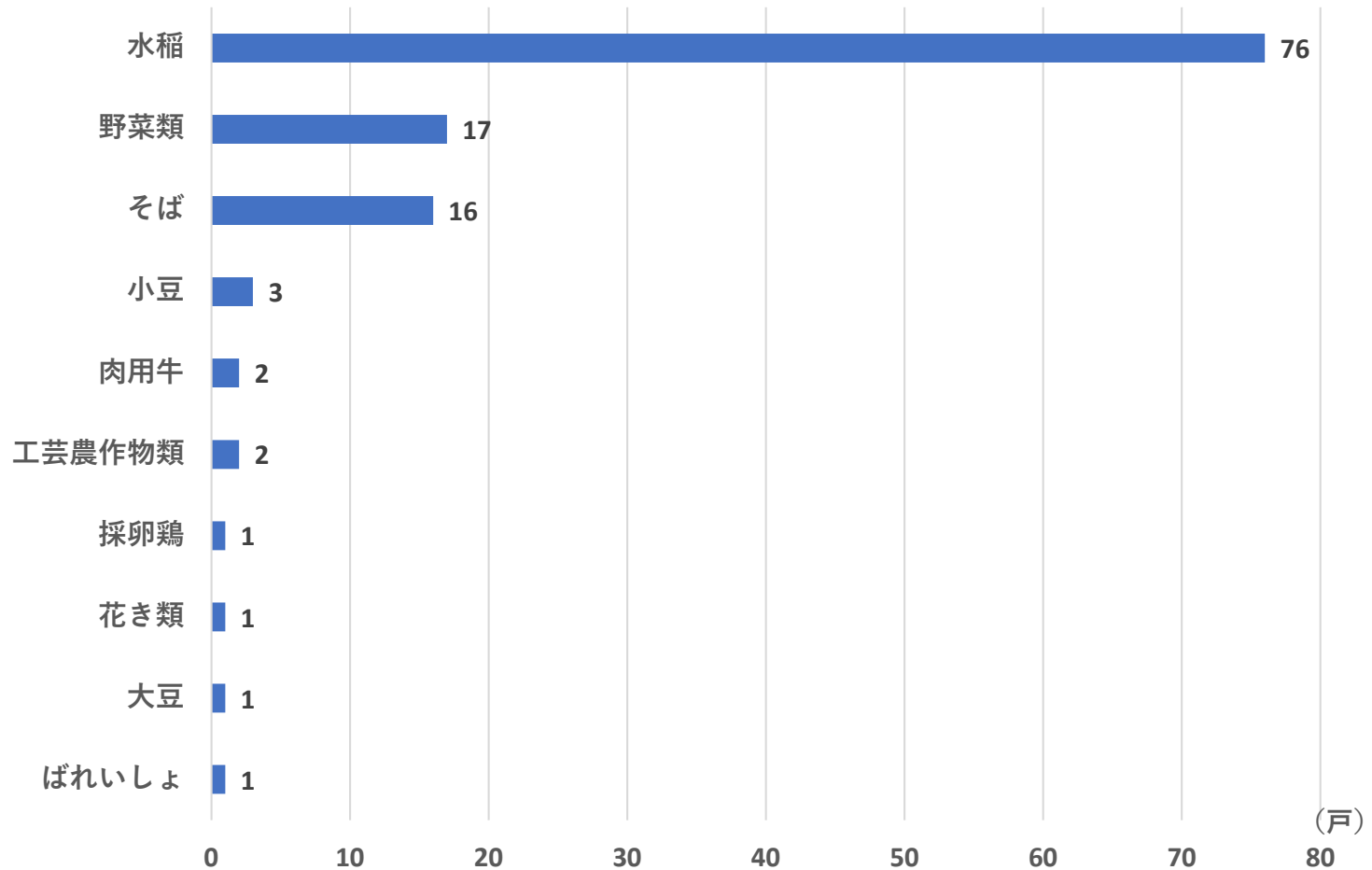
(農林水産省「市町村別農業産出額(推計)」より作成)

◆ 農業経営体数の推移



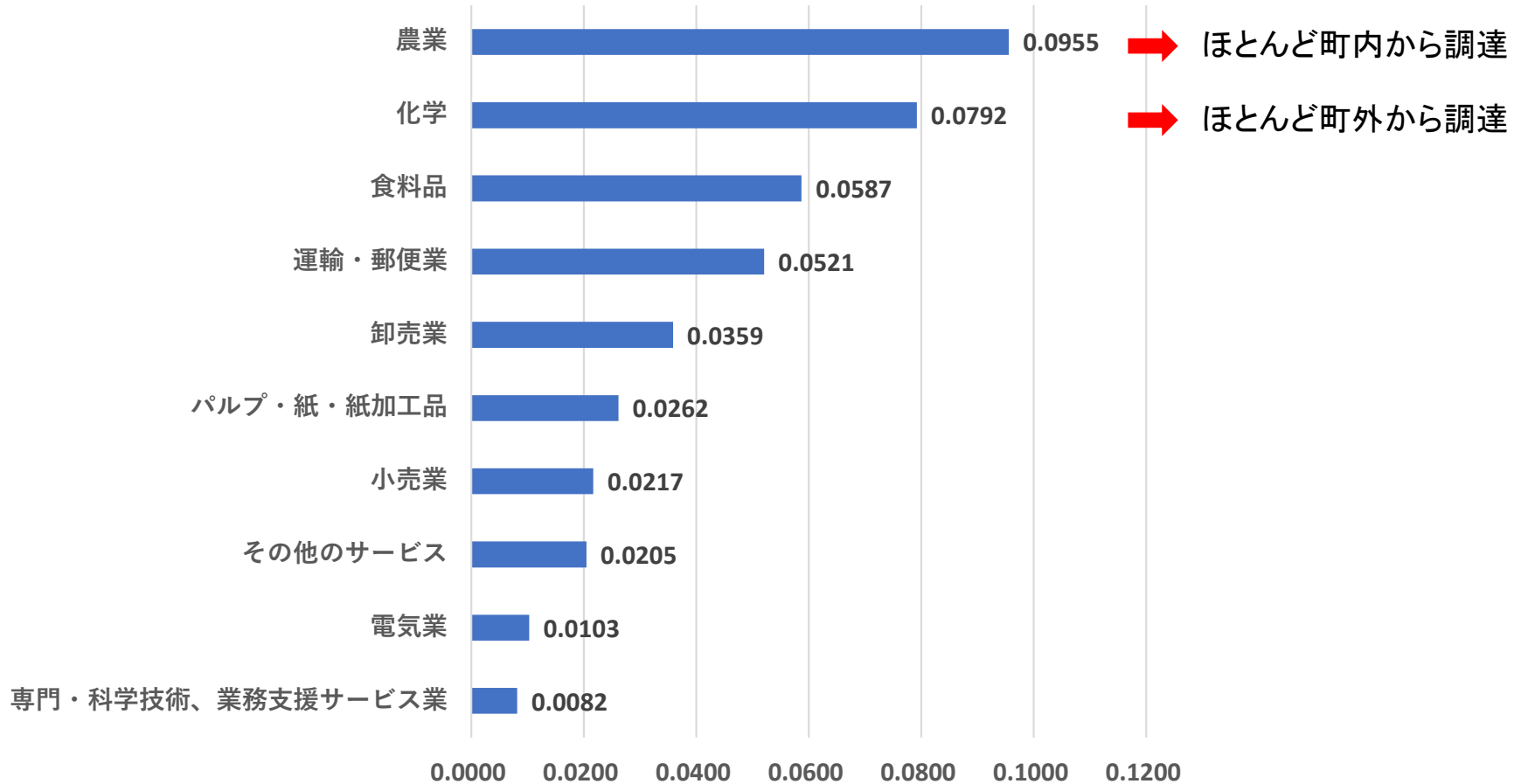
(農林水産省「農林業センサス」より作成)

◆ 農業経営体の品目別内訳(20年・N=96)



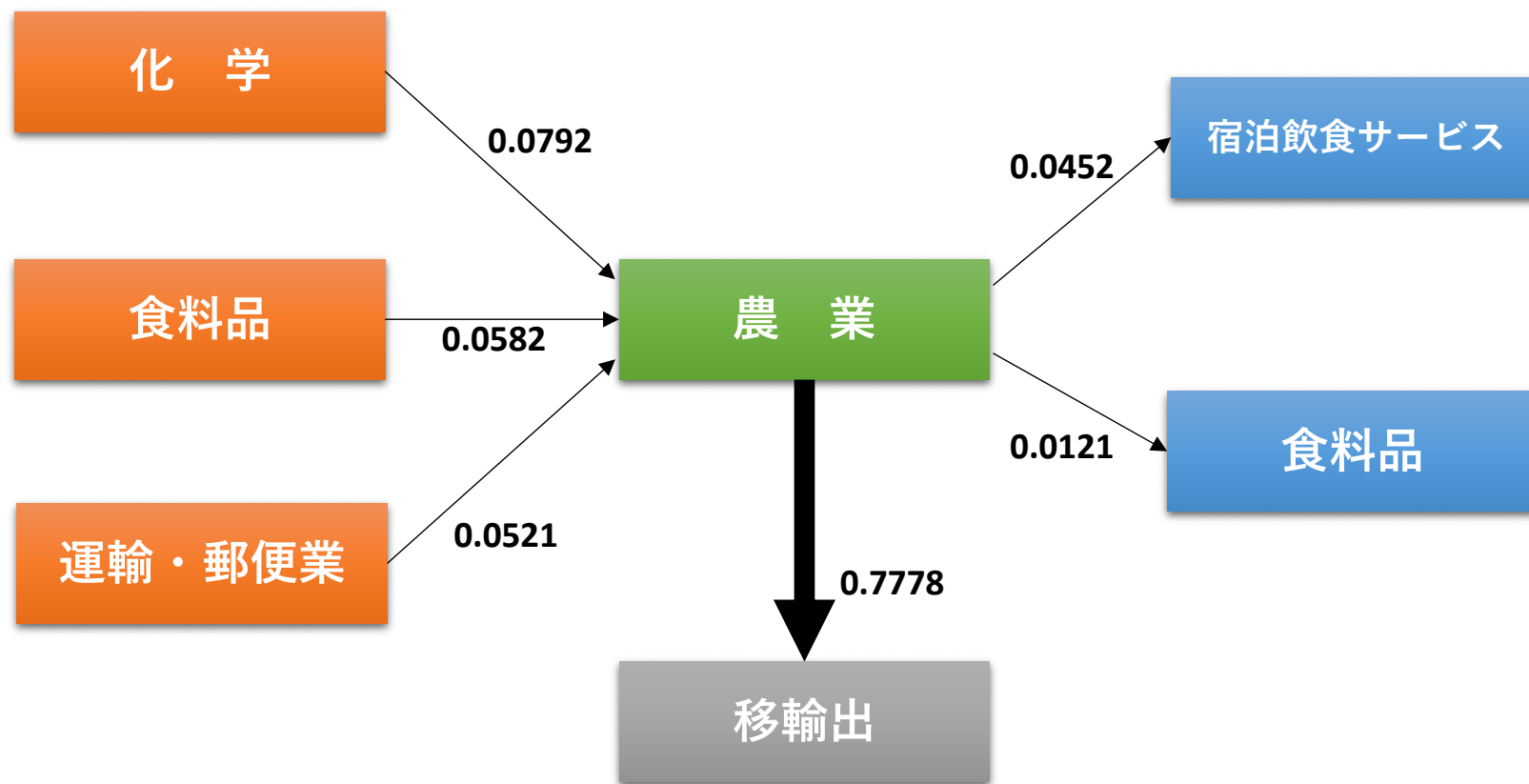
(農林水産省「農林業センサス」より作成)

◆ 農業部門の投入係数



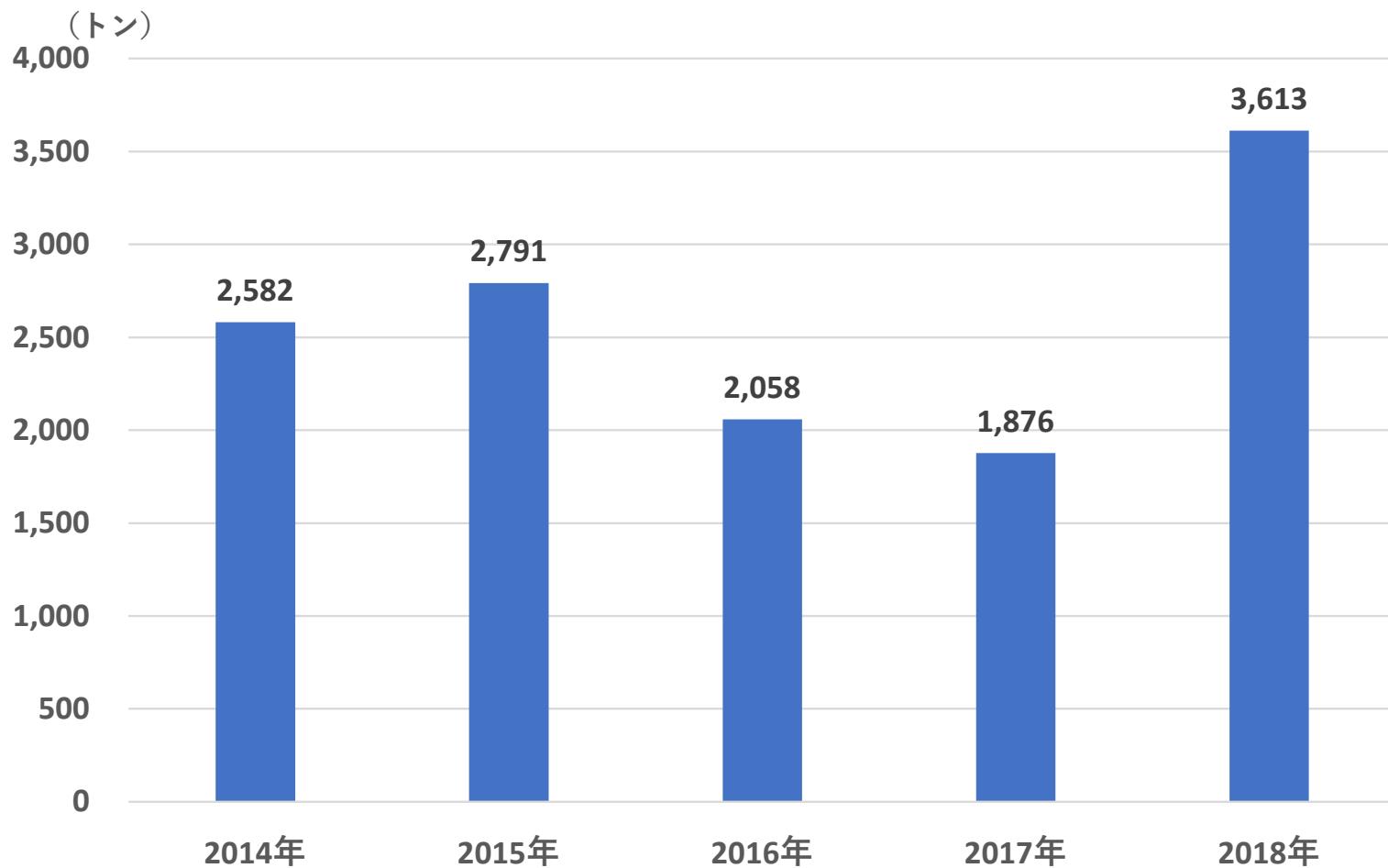
(価値総合研究所「京都府伊根町 地域産業連関表(2015年)」・「伊根町地域経済実態調査」より作成)

◆ 農業部門の産業連関構造



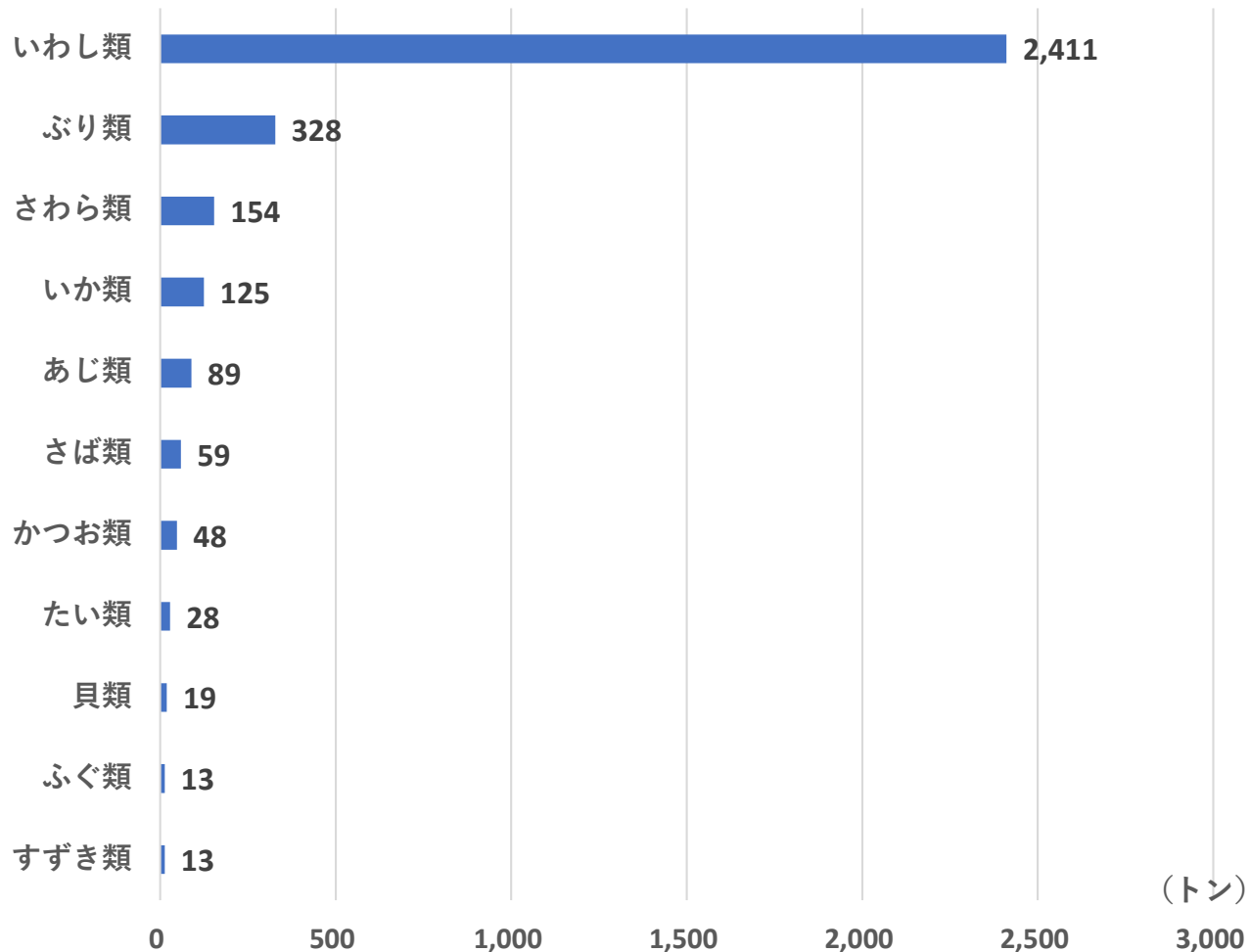
(価値総合研究所「京都府伊根町 地域産業連関表(2015年)」より作成)

◆ 漁獲量の推移



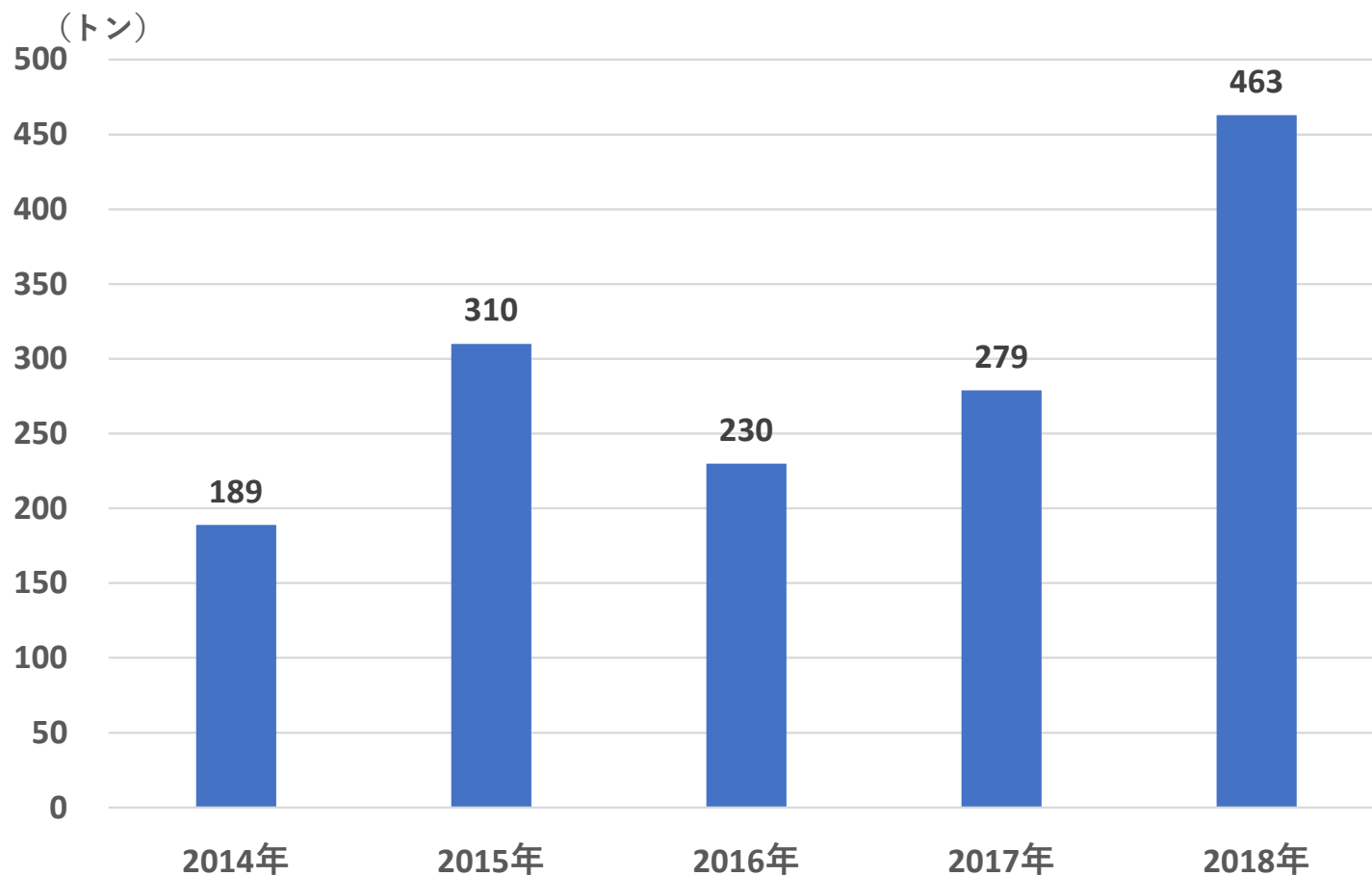
(農林水産省「海面漁業生産統計調査」より作成)

◆ 魚種別漁獲量(18年)



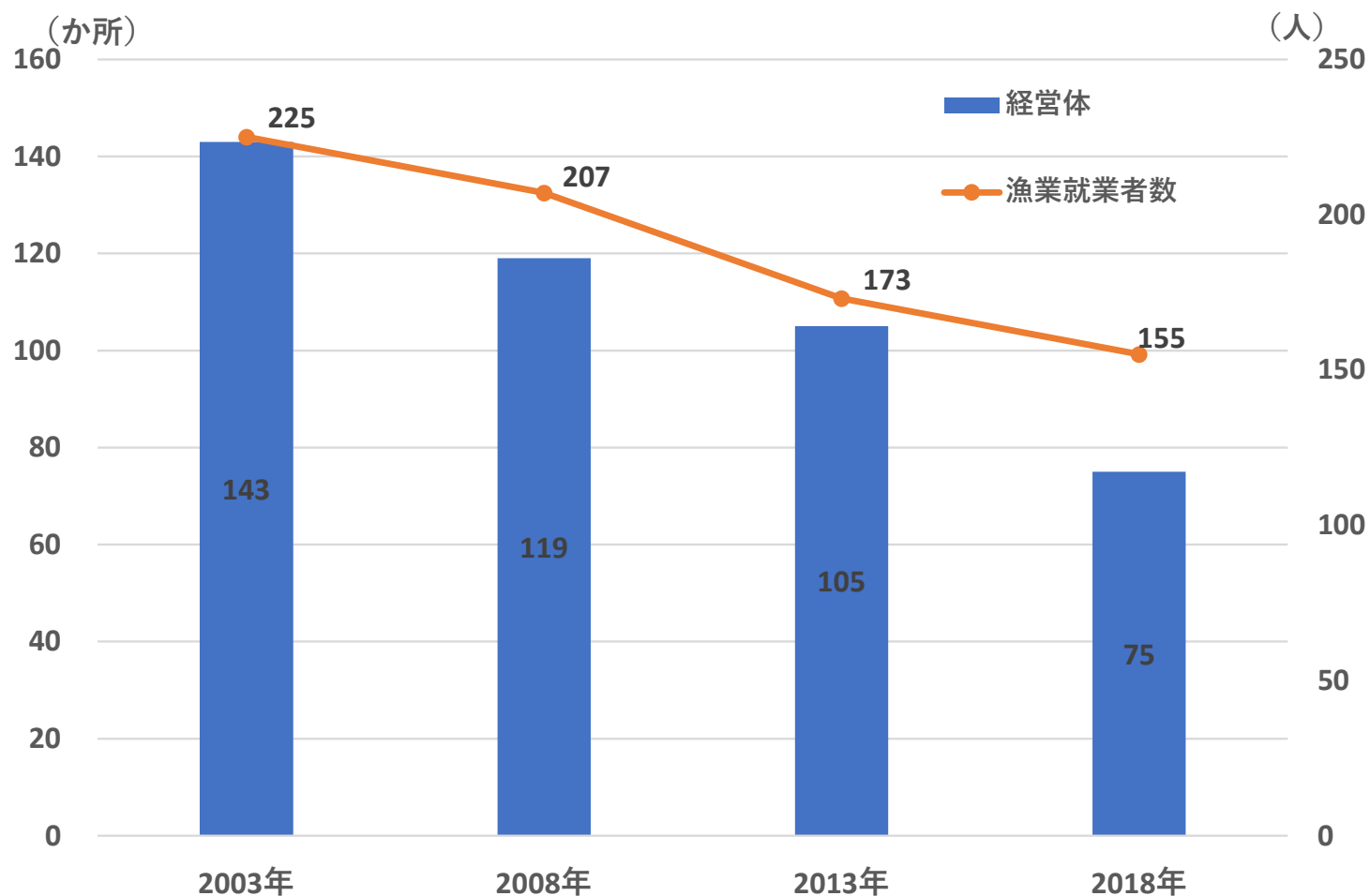
(農林水産省「海面漁業生産統計調査」より作成)

◆ 養殖収穫量の推移



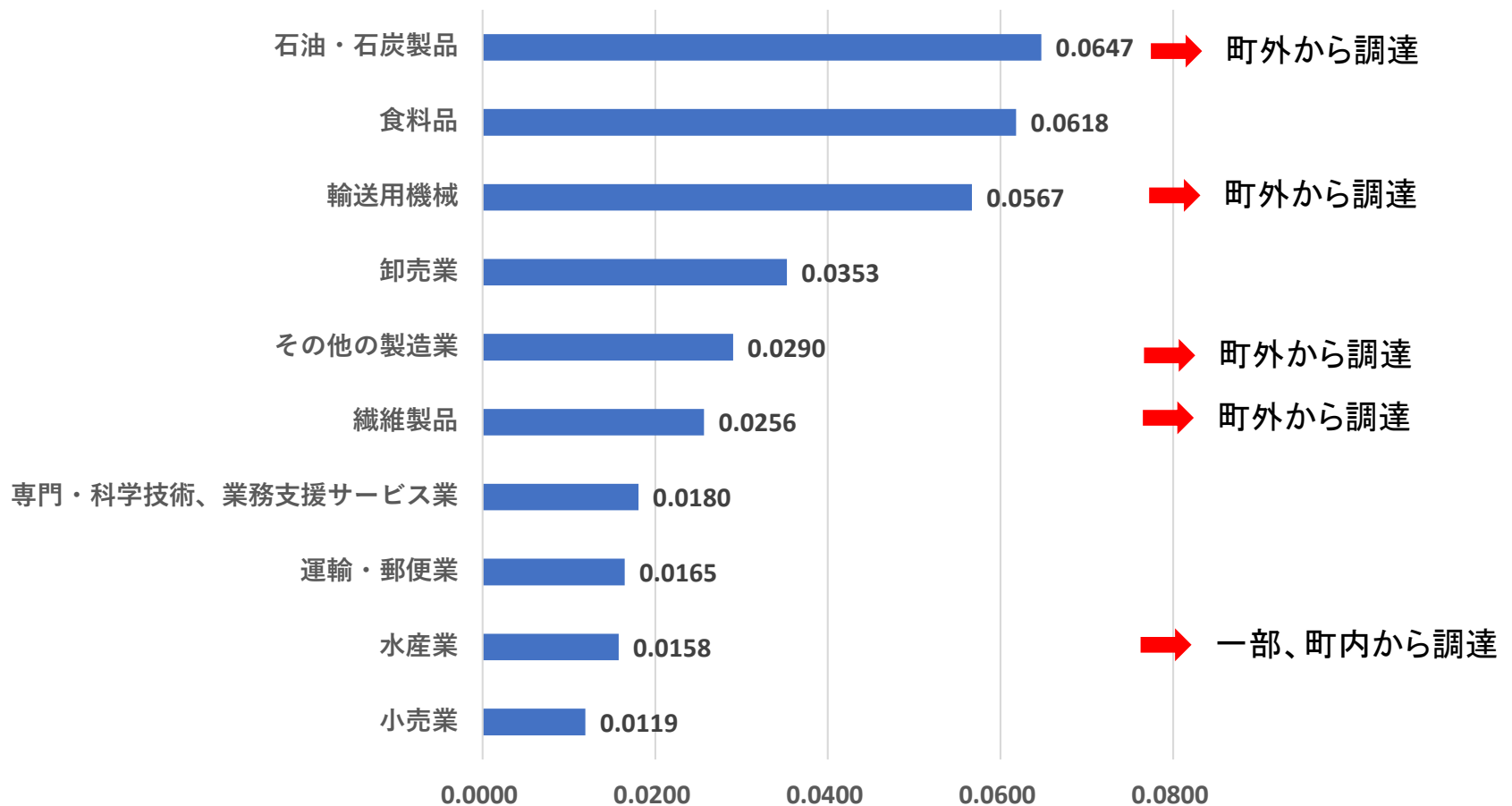
(農林水産省「海面漁業生産統計調査」より作成)

◆ 漁業経営体数・就業者数の推移



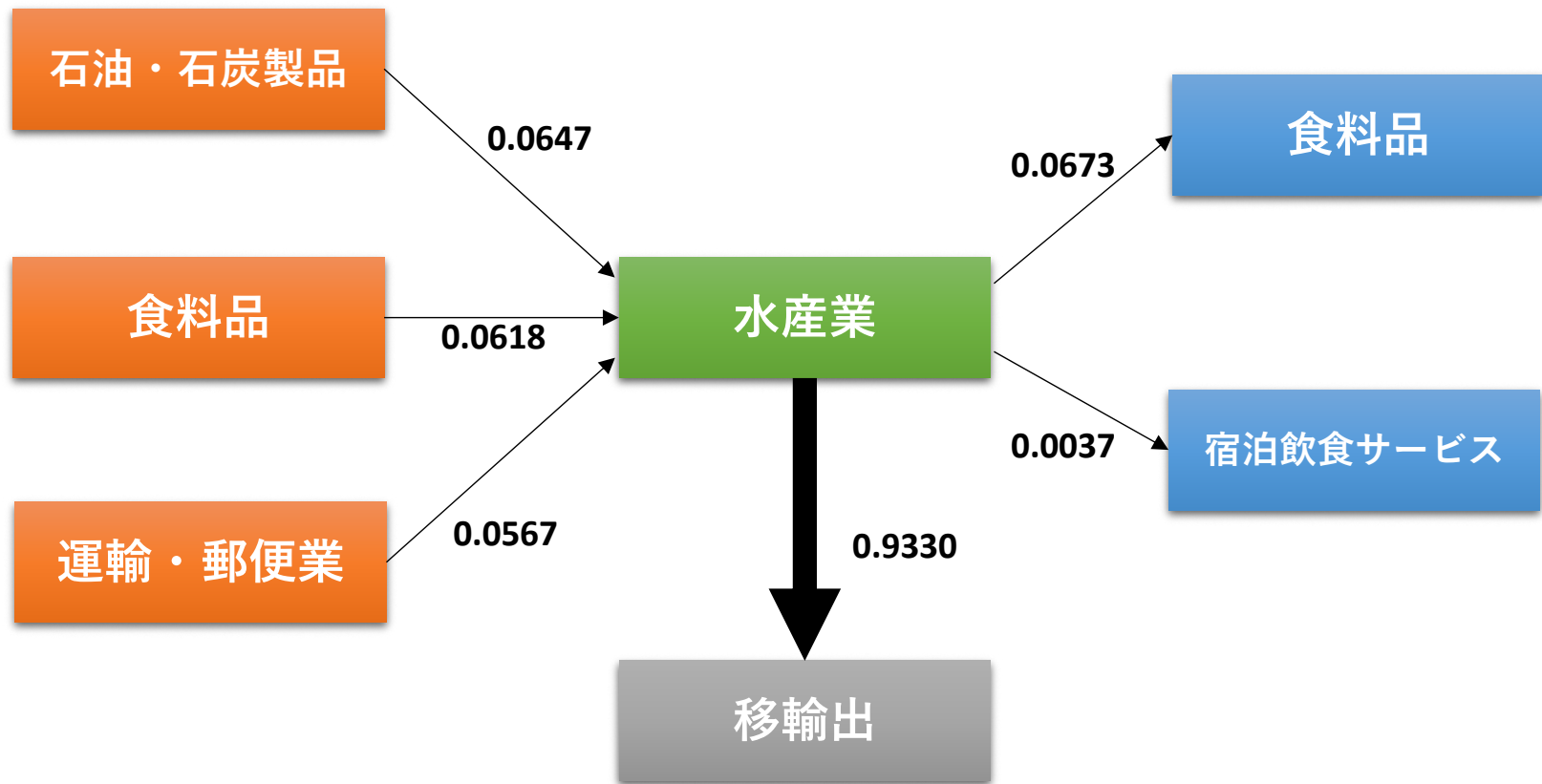
(農林水産省「漁業センサス」より作成)

◆ 水産業部門の投入係数



(価値総合研究所「京都府伊根町 地域産業連関表(2015年)」・「伊根町地域経済実態調査」より作成)

◆ 水産業部門の産業連関構造



(価値総合研究所「京都府伊根町 地域産業連関表(2015年)」より作成)

3 観光消費の動向

◆ 観光に関する現状（19－20年）

	2019年	2020年	増減数	増減率
観光入込客数（人）	355,577	186,838	-168,739	-47.5%
宿泊客数	34,410	29,398	-5,012	-14.6%
日帰り客数	321,167	157,440	-163,727	-51.0%
観光消費金額（千円）	1,251,314	1,069,712	-181,602	-14.5%
宿泊客 消費金額	701,490	639,535	-61,955	-8.8%
日帰り客 消費金額	549,824	430,177	-119,647	-21.8%
観光単価（円）	3,519.1	5,725.3	2,206.2	62.7%
宿泊客 単価	20,386.2	21,754.4	1,368.1	6.7%
日帰り客 単価	1,712.0	2,732.3	1,020.4	59.6%

（京都府「観光入込客数及び観光消費額」より作成）

◆ 観光客単価の推移(15－20年)

単位：円

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	対19年増減率
伊根町	3,489.5	4,007.8	3,729.8	3,480.6	3,519.1	5,725.3	62.7%
宮津市	3,219.3	3,230.4	3,232.1	3,192.3	3,398.4	3,520.6	3.6%
京丹後市	3,055.8	3,112.6	2,948.9	3,053.7	3,395.3	3,735.8	10.0%
与謝野町	950.8	951.1	1,270.1	1,320.9	1,398.5	1,473.7	5.4%
福知山市	2,182.8	2,270.2	2,045.6	2,509.6	2,246.0	1,724.6	-23.2%
舞鶴市	1,597.1	1,692.4	1,774.2	1,700.3	1,729.2	2,132.8	23.3%
綾部市	1,163.7	1,097.8	1,076.6	1,196.0	1,090.6	1,515.8	39.0%

(「京都府の観光入込客数及び観光消費額について」より作成)

◆ 宿泊客単価の推移(15－20年)

単位：円

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	対19年増減率
伊根町	18,521.9	23,168.4	17,845.3	21,550.1	20,386.2	21,754.4	6.7%
宮津市	8,775.4	8,885.3	9,122.8	9,104.4	9,291.7	10,569.8	13.8%
京丹後市	12,759.7	12,593.3	12,537.9	12,632.7	13,598.0	15,524.2	14.2%
与謝野町	8,134.4	8,691.2	9,204.7	8,691.6	8,314.2	8,924.0	7.3%
福知山市	5,518.6	6,228.7	5,723.1	5,875.1	5,728.9	5,841.7	2.0%
舞鶴市	9,250.6	8,100.8	8,906.2	8,316.1	8,860.7	6,397.9	-27.8%
綾部市	5,648.7	5,620.5	5,508.0	6,082.5	6,050.1	6,063.9	0.2%

(「京都府の観光入込客数及び観光消費額について」より作成)

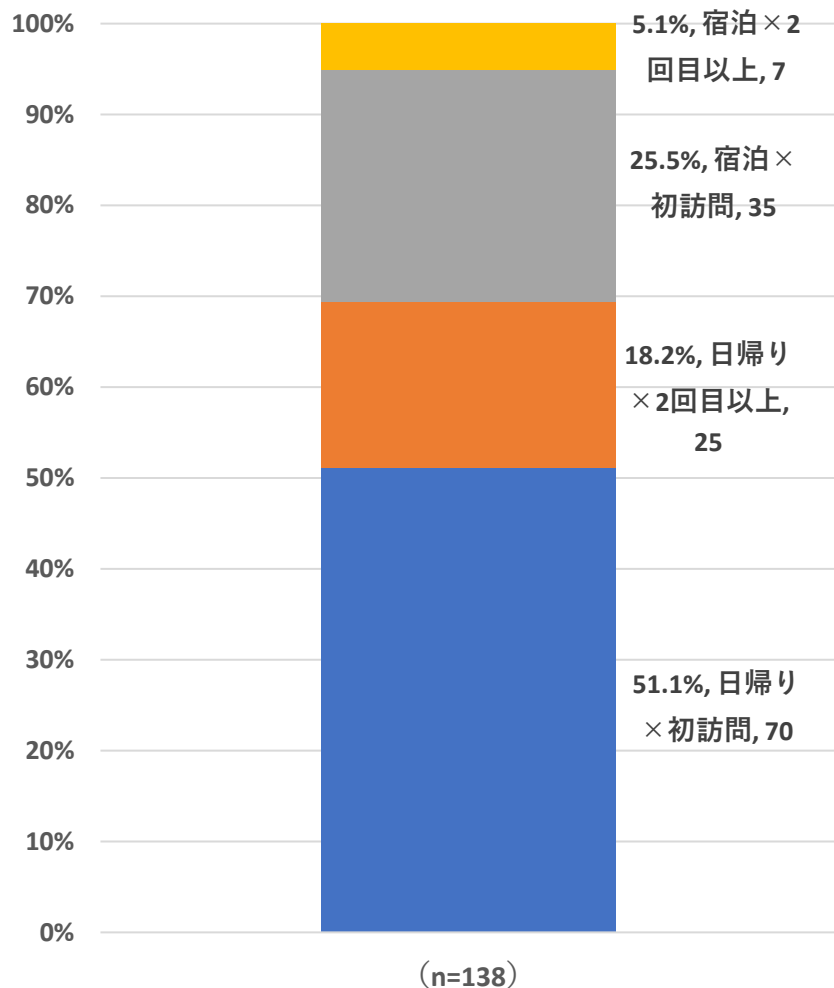
◆ 日帰り客単価の推移(15－20年)

単位：円

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	対19年増減率
伊根町	1,494.7	1,549.1	1,650.8	1,703.6	1,712.0	2,732.3	59.6%
宮津市	1,833.2	1,843.2	1,869.2	1,895.8	1,901.0	1,936.6	1.9%
京丹後市	1,011.5	1,241.2	1,119.8	1,205.6	1,243.0	1,061.8	-14.6%
与謝野町	616.3	579.3	767.6	776.7	794.1	816.0	2.7%
福知山市	1,377.8	1,299.5	1,162.8	1,643.9	1,558.0	986.1	-36.7%
舞鶴市	1,351.9	1,448.5	1,470.8	1,332.0	1,369.7	1,887.4	37.8%
綾部市	695.6	672.9	659.2	697.6	636.7	843.0	32.4%

(「京都府の観光入込客数及び観光消費額について」より作成)

◆ タイプ別の観光客単価(21年)



【宿泊客 1人当たり単価(中央値)】

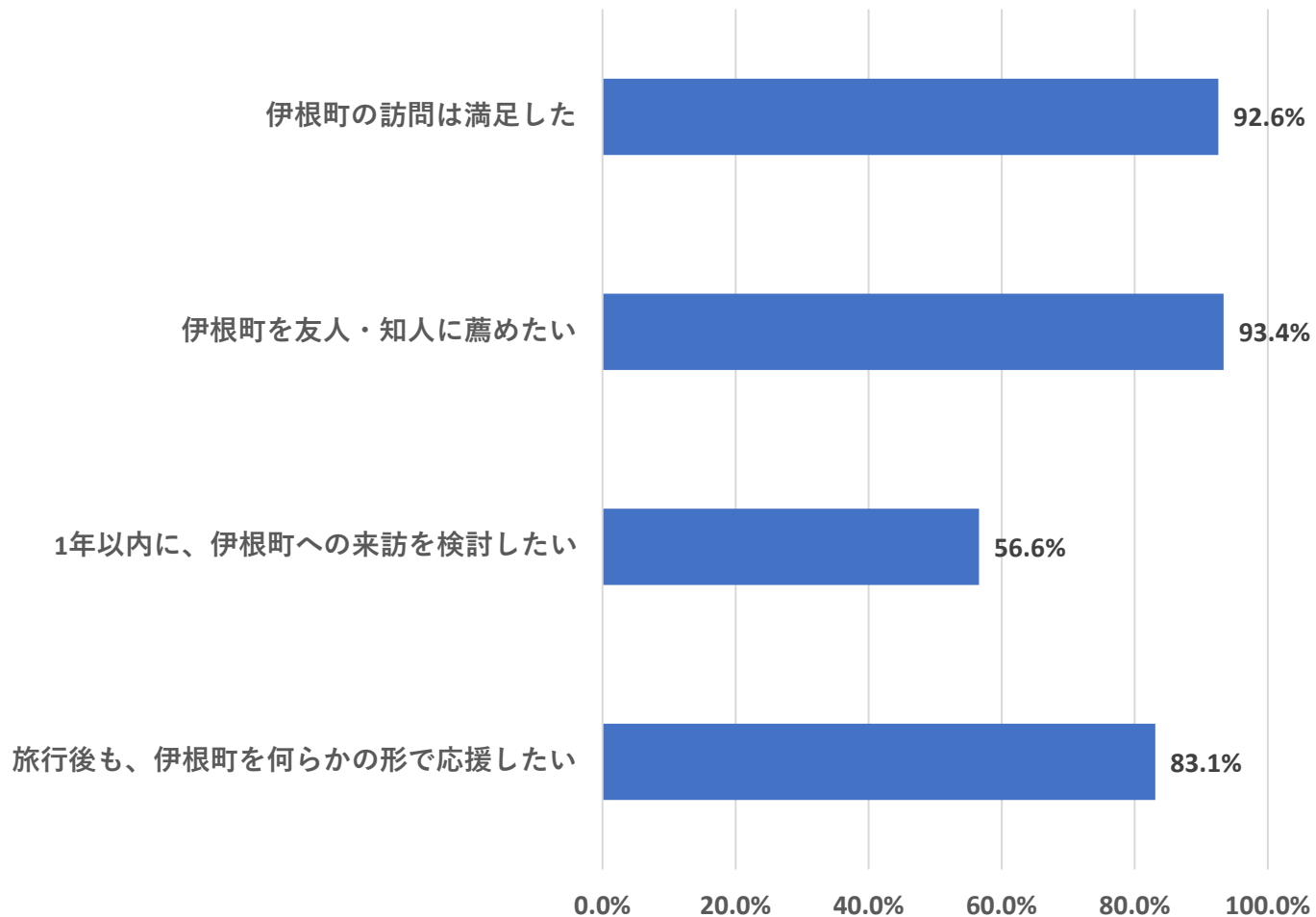
総額	30,250円
宿泊代	20,000円
飲食費	3,500円
入場料等	1,100円
買い物代	2,450円
交通費	0円
その他	0円

【日帰り客 1人当たり単価(中央値)】

総額	4,000円
飲食費*	
初訪問	1,500円
2回目以上	3,000円
入場料等*	
初訪問	1,000円
2回目以上	0円
買い物代	900円
交通費	0円
その他	0円

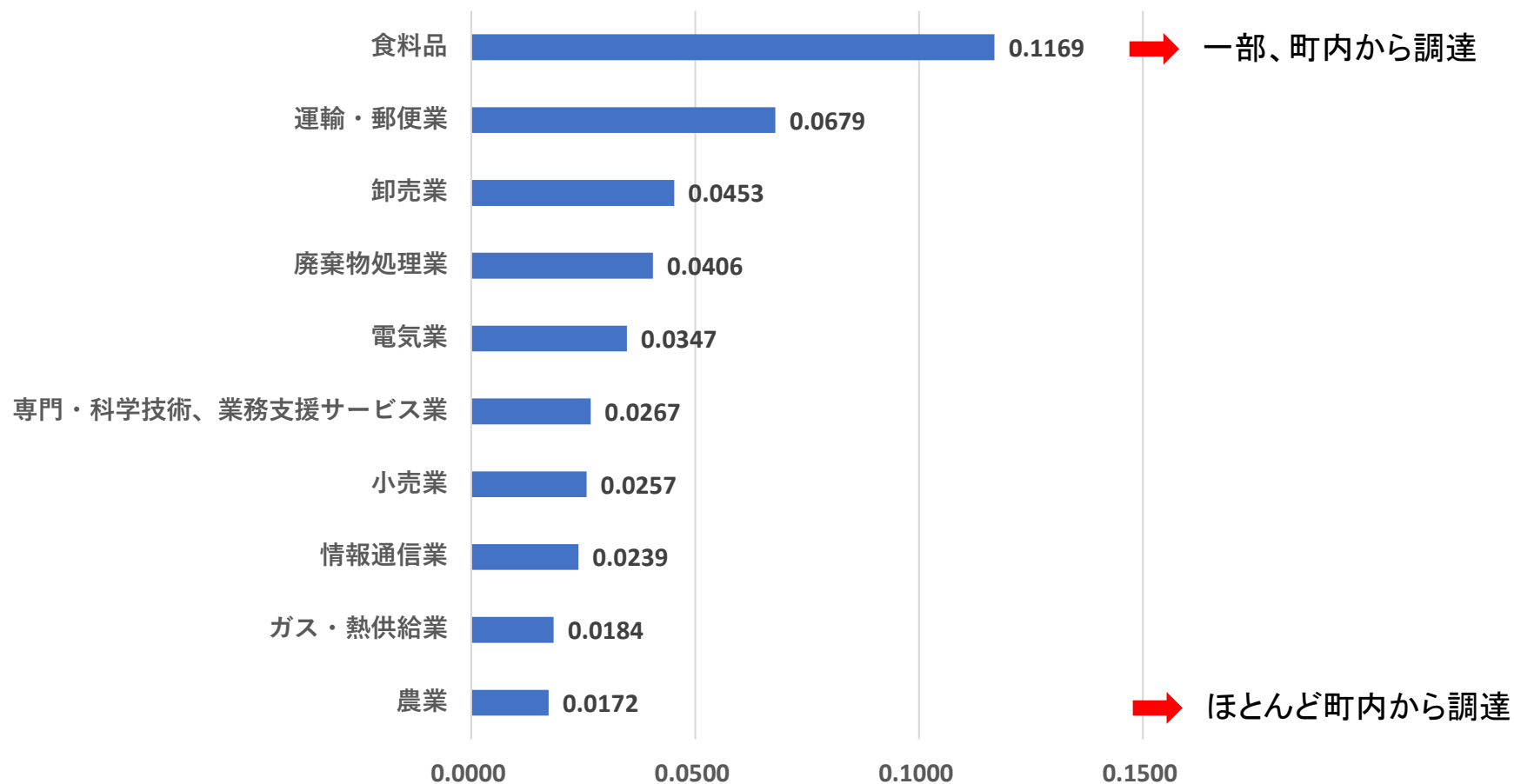
(「伊根町観光客実態調査 調査結果」より作成)

◆ 観光客のロイヤリティ(n=138)



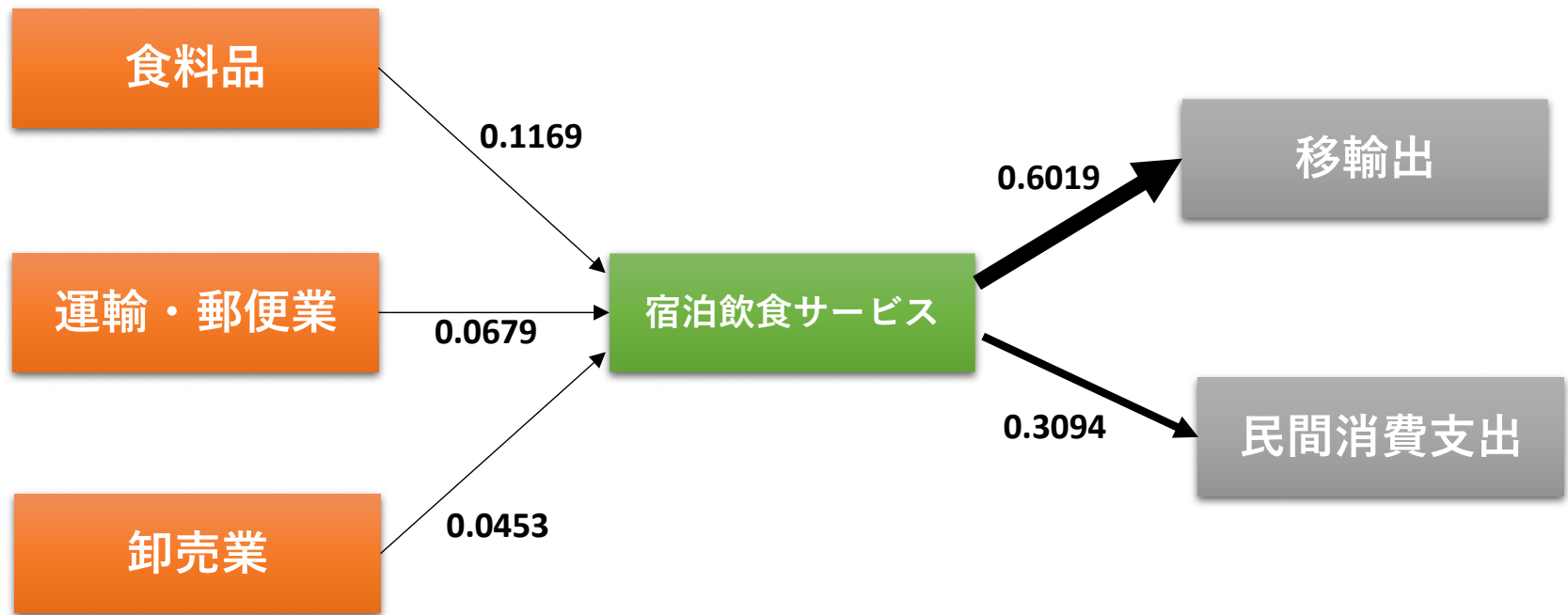
(「伊根町観光客実態調査 調査結果」より作成)

◆ 宿泊飲食サービス部門の投入係数



(価値総合研究所「京都府伊根町 地域産業連関表(2015年)」・「伊根町地域経済実態調査」より作成)

◆ 宿泊飲食サービス部門の産業連関構造



(価値総合研究所「京都府伊根町 地域産業連関表(2015年)」より作成)

◆ 観光消費金額の回復シナリオ（例）

観光消費額 減少額 (19年→20年・千円)	¥-181,602
---------------------------	-----------

【シナリオ1】
20年水準

	宿泊客	日帰り客
減少額の配分（千円）	108,572	73,030
減少額を回復させる人数（人）	4,991	26,728
19年水準を達成する観光者数（人）	34,389	184,168
	218,557	

観光消費金額の内訳	宿泊	59.8%
	日帰り	40.2%
観光消費単価の内訳	宿泊	21,754円
	日帰り	2,732円
観光入込客数（19年）		
355,577		

【シナリオ2】
観光消費単価
21年水準

	宿泊客	日帰り客
減少額の配分（円）	108,572	73,030
減少額を回復させる人数（人）	3,589	18,257
19年水準を達成する観光者数（人）	32,987	175,697
	208,685	

観光消費金額の内訳	宿泊	59.8%
	日帰り	40.2%
観光消費単価の内訳	宿泊	30,250円
	日帰り	4,000円
観光入込客数（19年）		
355,577		

【シナリオ3】
観光入込客数
19年水準
観光消費単価
21年水準

	宿泊客	日帰り客
19年水準の観光入込客数内訳 (20年水準に基づき推計)	355,577	
	55,948	299,629
観光消費金額の内訳 (千円)	1,692,434	1,198,515
観光消費金額の総額 (千円)	2,890,949	

観光入込客数の内訳	宿泊	15.7%
	日帰り	84.3%
観光消費単価の内訳	宿泊	30,250円
	日帰り	4,000円
観光消費金額（19年・千円）		
1,251,314		

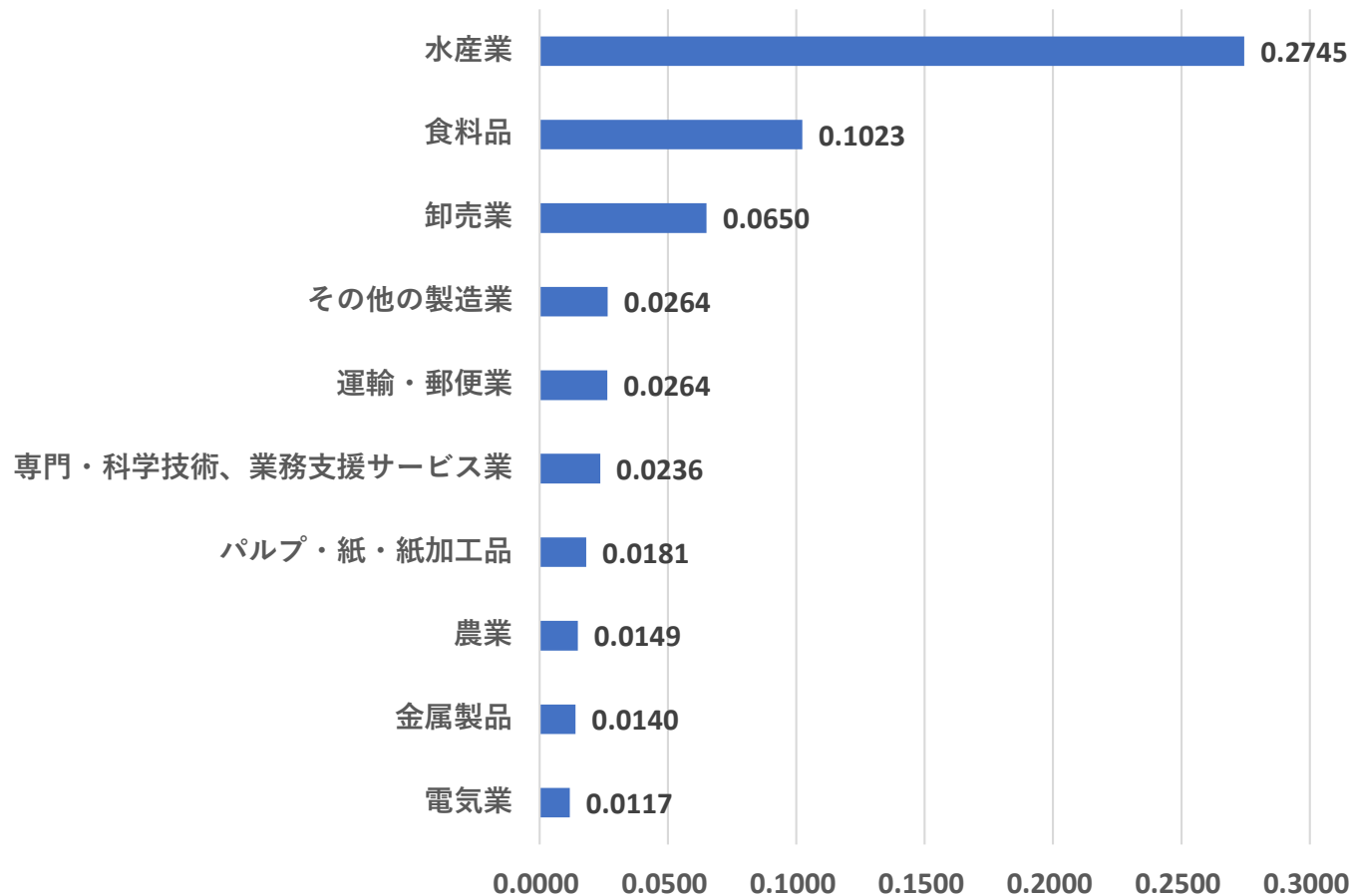
（「京都府の観光入込客数及び観光消費額について」・「伊根町観光客実態調査 調査結果」より作成）

4 まとめ

◆ 分析結果のまとめ

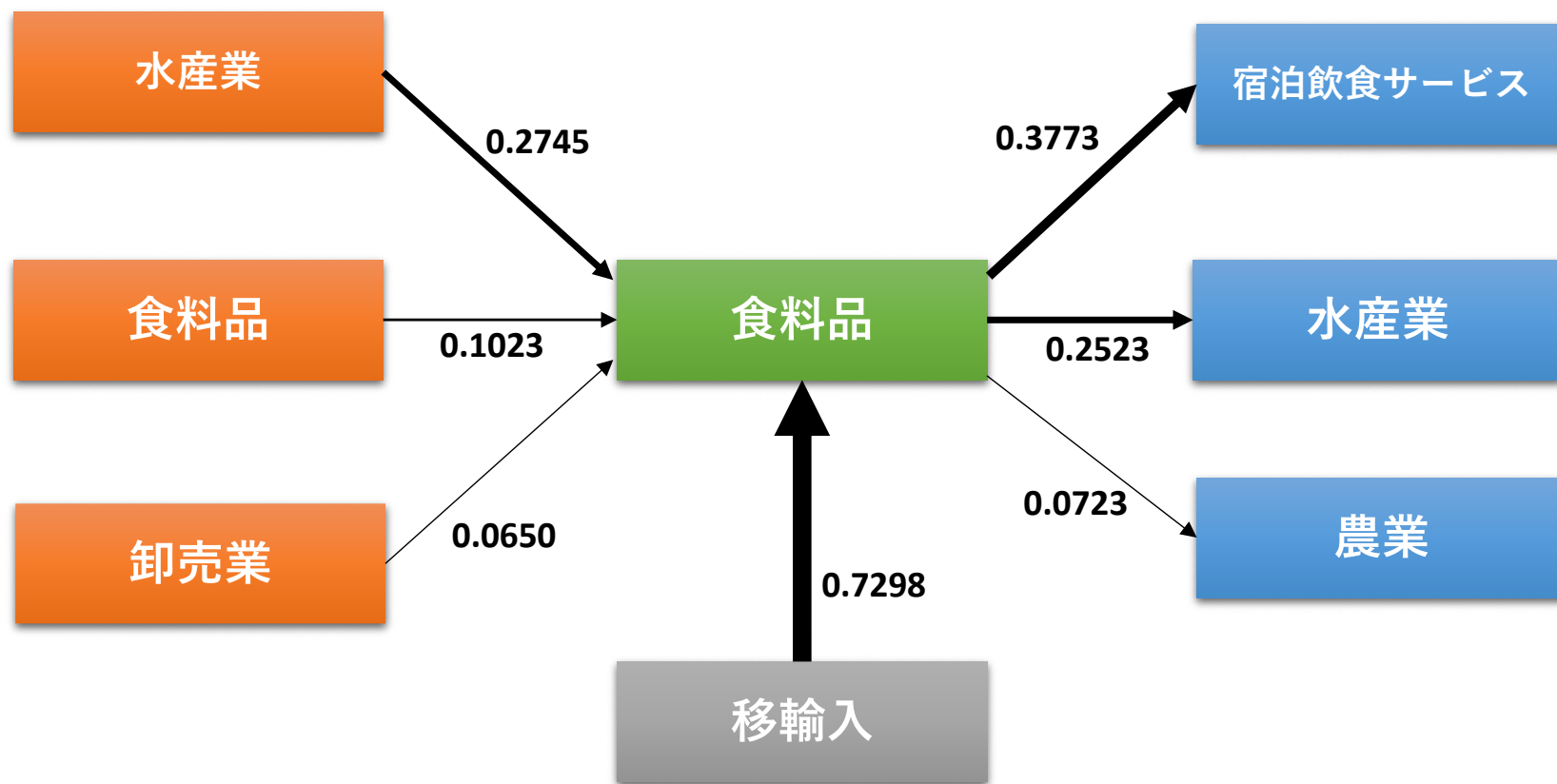
- 伊根町では、主要産業に加えて、「食料品(食品加工)」に、地域の中核となる産業としての可能性があった。しかし、当該産業の域内自給率は低かった。
- 伊根町の第1次産業は、他地域と比べて、特徴のある産業であり、移輸出額が高かった。しかし、当該産業の事業体数及び就業者数は減少傾向にあった。
- 伊根町の観光消費金額は、コロナ渦の影響もあり、19年から20年で、約15%の減少を示していた。しかし、消費単価は周辺自治体よりも高かった。

◆ 食料品部門の投入係数



(価値総合研究所「京都府伊根町 地域産業連関表(2015年)」より作成)

◆ 食料品部門の産業連関構造



(価値総合研究所「京都府伊根町 地域産業連関表(2015年)」より作成)

◎ 參考資料

◆ 漁業・漁村の多面的機能

自然環境を保全する機能

干潟環境の悪化を防ぐため、貝類の突発的な大量斃死により発生した死骸を除去する取組
[福島県]



アマモの栄養株の移植や播種(はしゅ)により、アマモ場の維持・回復を図る取組
[岡山県]

オニヒトデ等のサンゴを食害する生物を除去し、サンゴ礁を保全する取組
[沖縄県]



カキ養殖

プランクトンによって濁っている海水(白っぽく見える)
カキによって浄化されたきれいな海水(濃く見える)

地域社会を形成し、維持する機能



百余隻に及ぶ大漁旗で飾った奉迎船が織りなす、勇壮な入船・出船の海上神事 [山口県祝島神舞]



キビナゴを使った伝統的鍋料理 [長崎県五島地方]



交流等の場を提供する機能



体験乗船 [北海道]



干潟観察会 [三重県]



川で魚とりを楽しむ人々 [宮崎県]



転落者・漂流者の救助訓練の様子 [青森県]



流出油を回収する漁業者 [神奈川県]

国民の生命・財産を保全する機能

(水産庁「令和2年度 水産白書」より引用)

◆ 漁村の地域資源

表 2-2 漁村に存在するおもな地域資源

分類	おもな地域資源
漁業に関するもの	新鮮な魚介類、水産加工品、魚市場、各種漁業・養殖業、伝統漁業、水産加工業等
自然・景観に関するもの	漁村景観、舟屋、寺院、海、海岸、砂浜、干潟、海洋生物等
海洋性レクリエーションに関するもの	海水浴場、マリーナ、フィッシャリーナ、釣り堀、マリンスポーツ全般、釣り、潮干狩り等
漁村の文化・伝統等に関するもの	伝統行事、祭り、朝市・定期市、生活習慣、郷土料理、漁師料理、造船技術、海・気象に関する民俗知識、民話・逸話、地域の伝統文化保存会等
再生可能エネルギーに関するもの	風、波、太陽光、バイオマス、藻等
その他	海水温浴施設、藻塩施設、海水療法、深層水等

資料：農林水産省『水産白書』平成 24 年度版、p.130。

(婁小波[2013]「海業の時代」より引用)

◆ 「海業」とは

1) 海業

海業（広義） { 漁業
加工業・流通業
海業（狭義）

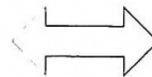
2) ベクトル

	漁業	海業（狭義）
対象への認識	有用水産動植物	①すべての水産動植物 ②海域空間（海面・空間） ③海岸域
経済活動の領域	生産から流通まで	①生産から消費まで ②余暇の消費
対象市場の性格	食料市場	①食料市場 ②余暇市場 ③教養・文化市場

3) 産業としての性格

漁業

- ・食料生産
- ・第1次産業
- ・ハード産業



海業

- ・食料生産
- ・サービス産業
- ・ソフト産業

（婁小波[2013]「海業の時代」より引用）

◆ 漁家経営の方向性

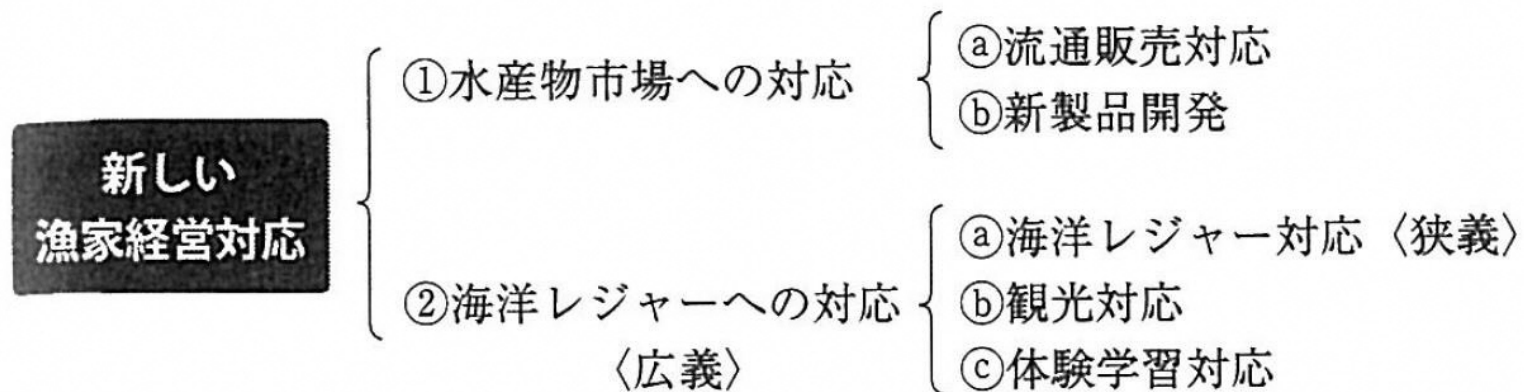
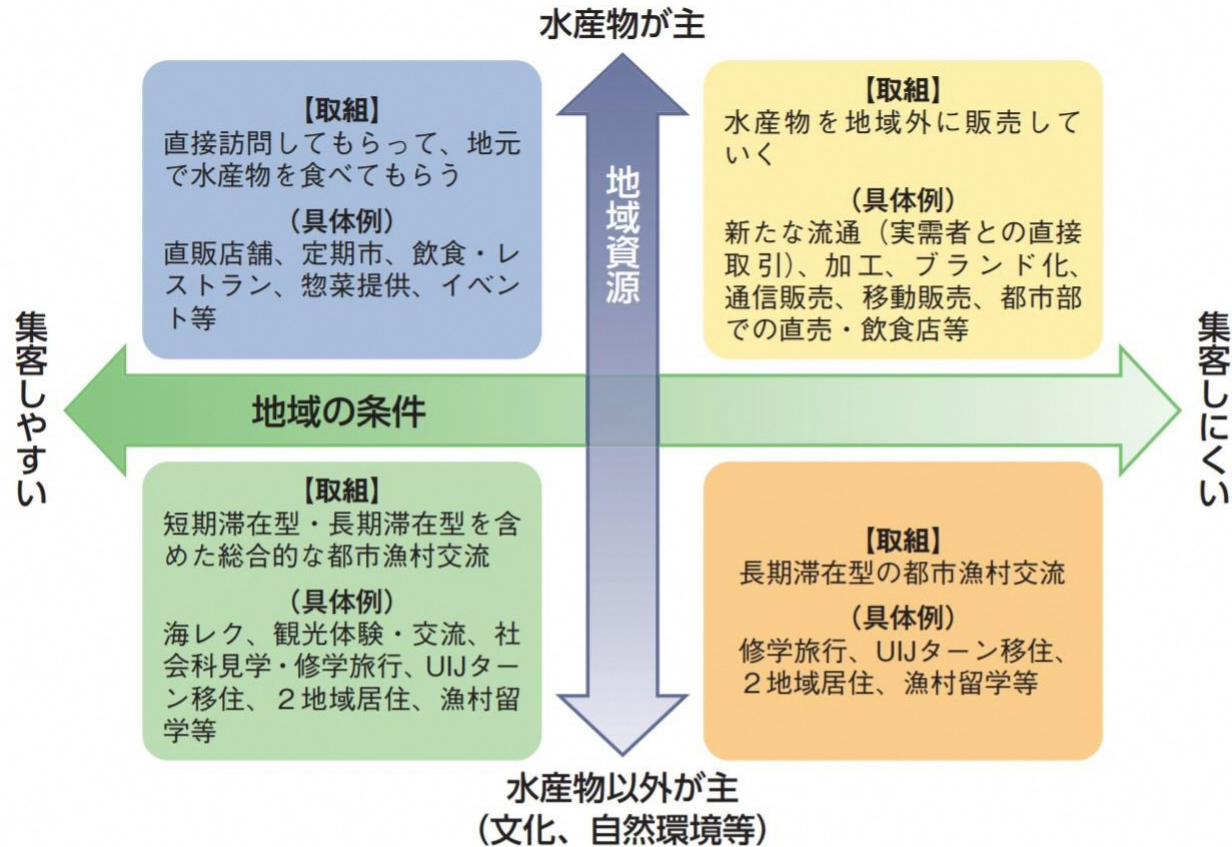


図 2-2 ニーズ対応の違いからみる漁家経営の多様化

(婁小波[2013]「海業の時代」より引用)

◆ 漁村の特性と取り組み例



資料：(一財)漁港漁場漁村総合研究所「漁村活性化の実践に向けた取組のポイント」(水産業強化対策推進交付金産地協議会活動支援事業)に基づき水産庁で作成

(水産庁「令和元年度 水産白書」より引用)

◆ 渚泊の推進

事例

京都府伊根町^{いね}における渚泊の取組

京都府の日本海側に位置する伊根地区は、沿岸部では昔から漁業が営まれ、周囲約5kmの伊根湾に沿って約230軒の舟屋と呼ばれる1階が舟置き場、2階が二次的な居室となっている建物が建ち並んでいます。この風光明媚な町並みと自然が残る地域は、重要伝統的建造物群保存地区にも選定されています。

近年は、その舟屋を宿泊施設に改修した1日1組限定の「舟屋の宿」が複数開業し、舟屋に宿泊することを目的とした観光客が増えています。また、平成28（2016）年から、観光案内所に町内の外国人を雇用する等、外国人観光客への対応を強化したことで、アジア各国・地域などの外国人観光客も増加しており、都会とは異なる伊根地区ならではの魅力で国内のみならず海外の観光客を惹きつけています。

（外国人観光客の観光案内所対応者数：179人（平成27（2015）年）→3,912人（令和元（2019）年））

（外国人宿泊者数：70人（平成27（2015）年）→3,147人（平成30（2018）年））

また、舟屋に「泊まる」だけでなく、伊根湾の新鮮な魚介類や、伊根名物のサバのへしこ（ぬか漬）等を「味わう」ことや、舟屋ガイドと回れる体験ツアーや伊根湾での釣り体験、漁師に教わるロープワークとビン玉縄編み体験、刺身づくり体験などの「体験する」ことも合わせて、地域を満喫する渚泊の取組を実践しています。



海沿いに立ち並ぶ
舟屋群



舟屋を活用した
「舟屋の宿」



ビン玉縄編み体験



刺身づくり体験

（写真提供：
伊根町観光協会）